

# 11 ディファレンシャル

基本点検	11 - 2
準備品	11 - 2
ディファレンシャルオイル量点検	11 - 2
ディファレンシャルオイル	11 - 2
フロントドライブピニオン	
オイルシール	11 - 3
フロントサイドギヤシャフト	
オイルシール	11 - 3
フロントディファレンシャル	
キャリア ASSY	11 - 4
準備品	11 - 4
フロントディファレンシャルキャリア ASSY	11 - 9
脱着構成図	11 - 9
フロントディファレンシャルキャリア ASSY	
脱着作業上の留意点	11 - 10
分解構成図	11 - 11
断面図	11 - 12
フロントディファレンシャルキャリア ASSY 点検	11 - 13
フロントディファレンシャルキャリア ASSY 分解	11 - 13
フロントディファレンシャル構成部品の	
点検および調整	11 - 16
フロントディファレンシャル	
キャリア ASSY 組み付け	11 - 17
リヤドライブピニオン	
オイルシール	11 - 25
準備品	11 - 25
リヤドライブピニオンオイルシール	11 - 27
脱着構成図	11 - 27
リヤドライブピニオンオイルシール	
脱着作業上の留意点	11 - 27
リヤサイドギヤシャフト	
オイルシール	11 - 30
準備品	11 - 30
リヤサイドギヤシャフトオイルシール	11 - 31
脱着構成図	11 - 31
リヤサイドギヤシャフトオイルシール	
脱着作業上の留意点	11 - 32
リヤディファレンシャル	
キャリア ASSY	11 - 34
準備品	11 - 34
リヤディファレンシャルキャリア ASSY	11 - 39
脱着構成図	11 - 39
リヤディファレンシャルキャリア ASSY	
脱着作業上の留意点	11 - 40
分解構成図	11 - 41
断面図	11 - 45

リヤディファレンシャルキャリア ASSY	
点検 (全車)	11 - 47
リヤディファレンシャルキャリア ASSY	
分解 (全車)	11 - 48
リヤディファレンシャル構成部品の	
点検および調整	11 - 50
リヤディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け	11 - 52
ディファレンシャルマウント	
クッション	11 - 68
準備品	11 - 68
ディファレンシャルマウントクッション	11 - 69
ディファレンシャルマウントクッション	
取りはずし	11 - 69
ディファレンシャルマウントクッション取り付け	11 - 69

# 基本点検

## 準備品

油脂・その他

トヨタ純正 ハイポイドギヤオイル SX	30700	フロント、リヤディファレンシャル (除く2ピニオンLSD) 注入用
トヨタ純正 ハイポイドギヤオイル LSD	30711	リヤディファレンシャル (2ピニオンLSD) 注入用

T0048855

## ディファレンシャルオイル量点検

### ディファレンシャルオイル

#### 1 オイル量点検

**注意** ・オイル過多、過小はトラブルの原因になる。

・車両を平坦路に停止させる。

- (1) フィラープラグを取りはずす。
- (2) フィラープラグ穴下端から0～5mm以内にオイルがあることを確認する。

**注意** オイル交換時は、走行後オイル量を再確認する。

- (3) オイル量の少ない時、オイル漏れを点検する。

基準値

	使用オイル量	使用オイル
フロント	0.7ℓ	ハイポイドギヤオイル SX
リヤ7.5インチ	1.0ℓ	ハイポイドギヤオイル SX
リヤ7.5インチ 2ピニオンLSD	1.0ℓ	ハイポイドギヤオイル LSD
リヤ8インチ	1.3ℓ	ハイポイドギヤオイル SX
リヤ8インチ トルセンLSD	1.3ℓ	ハイポイドギヤオイル SX

T0049263

## フロントドライブピニオン オイルシール

**注意** フロントドライブピニオンオイルシール交換は、車上ではできないので、フロントディファレンシャルキャリア ASSY を車両より降ろしてから行う。

(「フロントディファレンシャルキャリア ASSY」－「フロントディファレンシャルキャリア ASSY 分解および組み付け」参照)

T0049264

## フロントサイドギヤシャフト オイルシール

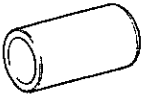

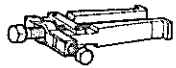
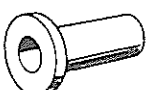

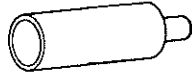
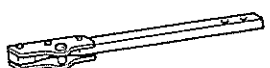
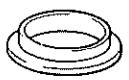

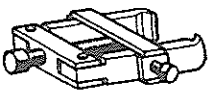

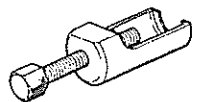
**注意** フロントサイドギヤシャフトオイルシール交換は、車上ではできないので、フロントディファレンシャルキャリア ASSY を車両より降ろしてから行う。

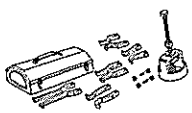
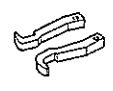
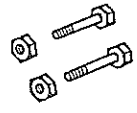
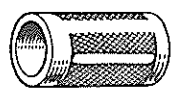
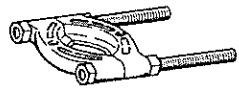

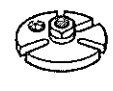





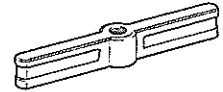
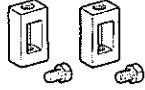
(「フロントディファレンシャルキャリア ASSY」－「フロントディファレンシャルキャリア ASSY 分解および組み付け」参照)

# フロントディファレンシャル キャリア ASSY

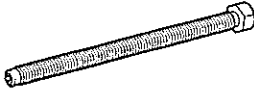

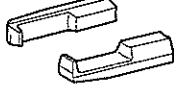

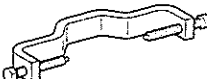
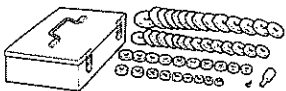

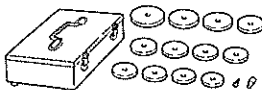

## 準備品

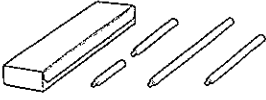
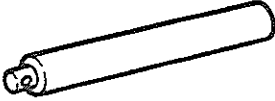
S S T

	09223-00010	カバー & シール リプレaser	サイドギヤシャフトオイルシール取り付け用
	09308-00010	オイルシールプラー	サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし用
	09308-10010	オイルシールプラー	ドライブピニオンオイルシール取りはずし用
	09309-36010	トランスミッションリヤ ベアリングリプレaser	ドライブピニオンオイルシール取り付け用
	09316-60011	トランスミッション & トラン スファーベアリングリプレaser	
	(09316-00011)	リプレaserパイプ	コンパニオンフランジダストデフレクター取り 付け用
	09330-00021	コンパニオンフランジ ホールディングツール	コンパニオンフランジ保持用
	09502-12010	ディファレンシャルベアリング リプレaser	ドライブピニオンリヤベアリングアウターレー ス取りはずし用およびドライブピニオンオイル シール取り付け用
	09506-30012	ディファレンシャルドライブ ピニオンリヤベアリングコーン リプレaser	ドライブピニオンフロントベアリング取り付け 用
	09556-22010	ドライブピニオンフロント ベアリングリムーバー	ドライブピニオンリヤベアリング取りはずし用
	09564-32011	ディファレンシャルプレロード アダプター	リングギヤバックラッシュ測定用
	09610-20012	ピットマンアームプラー	タイロッドエンド切り離し用

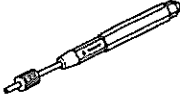

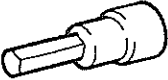
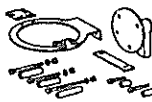
	09612-65014	ステアリングウォームベアリング ブラー	
	(09612-01020)	クロー B	ドライブピニオンリヤベアリングアウターレース取りはずし用
	(09612-01050)	ハンガーピン ウィズ ナット	ドライブピニオンリヤベアリングアウターレース取りはずし用
	09636-20010	アッパーボールジョイント ダストカバーリプレサー	テーパードロローベアリング (サイドベアリング) 取り付け用
	09950-00020	ベアリングリムーバー	ドライブピニオンフロントベアリングおよびドライブピニオンダストデフレクター取りはずし用
	09950-30010	ブレード A セット	
	(09951-03010)	アッパープレート	コンパニオンフランジ脱着用
	(09953-03010)	センターボルト *	コンパニオンフランジ脱着用
	(09954-03010)	アーム	コンパニオンフランジ脱着用
	(09955-03030)	ロープレート 130	コンパニオンフランジ保持用および脱着用
	(09956-03020)	アダプター 18	コンパニオンフランジ脱着用
	09950-40010	ブレード B セット	
	(09951-04020)	ハンガー 200	テーパードロローベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	(09952-04010)	スライドアーム	テーパードロローベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用

## ディファレンシャルーフロントディファレンシャルキャリヤ ASSY

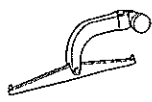
	(09953-04030) センターボルト 200 *	テーパードロローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	(09954-04010) アーム 25	テーパードロローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	(09955-04060) クロウ№.6	テーパードロローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	(09957-04010) アタッチメント	テーパードロローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	(09958-04010) ホルダー	テーパードロローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	09950-60010 リプレーサーセット	
	(09951-00390) リプレーサー 39 *	テーパードロローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
リプレーサー 41 09951-00410	70111	テーパードロローラーベアリング (サイドベアリング) 組み付け用
リプレーサー 43 09951-00430	70113	コンパニオンフランジダストディフレクタ取りはずし用
リプレーサー 54 09951-00540	70124	サイドベアリングアウターレース取りはずし用
リプレーサー 64 09951-00640	70134	ドライブピニオンフロントアウターレース組み付け用
	09950-60020 リプレーサーセット№.2	
	(09951-00710) リプレーサー 71 *	ドライブピニオンリヤアウターレース組み付け用
リプレーサー 72 09951-00720	70138	ドライブピニオンリヤアウターレース組み付け用
リプレーサー 73 09951-00730	70139	サイドベアリングアウターレース組み付け用
リプレーサー 81 09951-00810	70144	ドライブピニオンフロントアウターレース組み付け用

	09950-70010	ハンドルセット	
	(09951-07150)	ハンドル 150	サイドベアリングアウターレース取りはずし用

工 具

	09031-00040	ピンポンチ (φ5mm) *	ストレートピン脱着用
	09040-00010	ヘキサゴンレンチセット	
	(09043-20050)	ソケットヘキサゴンレンチ 5 *	スタビライザーリンク脱着用
ソケットヘキサゴンレンチ 6 09043-20060			フロントプロペラシャフト脱着用 70024
	09090-05001	ディファレンシャル リペアスタンド	ディファレンシャルキャリア固定用
ボルト (M12×P1.25 首下長さ 186mm) 90101-12159			ドライブピニオンフロントおよびリヤベアリングアウターレース取り付け用 54611
ナット (M12×P1.25) 90179-12051			ドライブピニオンフロントおよびリヤベアリングアウターレース取り付け用 54612
ボルト (M8×P1.25) 首下長さ 37~50mm			コンパニオンフランジ保持用 54620

計 器

	XY-1	ダイヤルゲージレバー式測定子 (側バンザイ扱い、(側)イヤサカ扱い)	リングギヤバックラッシュ測定用
ダイヤルゲージ			各部測定用 21201
トルクレンチ [0~3N・m {0~30kgf・cm}]			プレロード測定用 20114
トルクレンチ [50~275N・m {500~2800kgf・cm}]			ドライブピニオンナット締め付け用 20119

油脂・その他

トヨタ純正 MP グリースNo.2	30204	オイルシールリップ部への塗布用
トヨタ純正 ハイポイドギヤオイル SX	30709	ディファレンシャルケース内への注入用
トヨタ純正 ハイポイドギヤオイル LSD	30711	ドライブピニオンねじ部塗布用
光明丹	52801	リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検用
ヒーター	51901	リングギヤ加熱用
シールパッキン 1281	50901	ディファレンシャルキャリアカバーの塗布用
ビニールテープ	53702	SST 固定用



## フロントディファレンシャルキャリア ASSY

## 脱着作業上の留意点

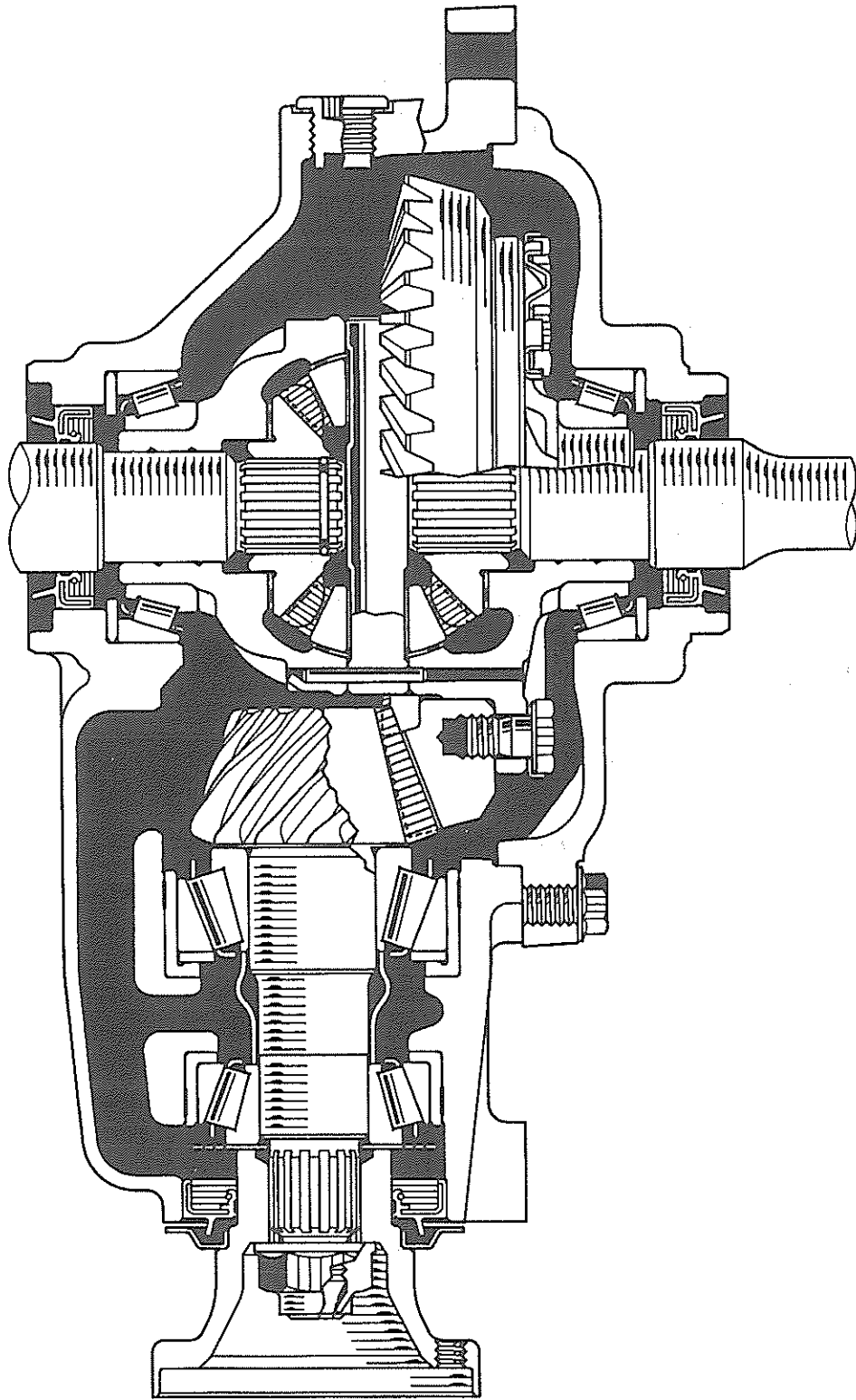
- **注意** ・ポンチで合わせマークをつけない。
- ・サイドギヤシャフトオイルシールを傷つけない。
- ・パワーステアリングギヤ ASSY とフロントサスペンションメンバーNo.2 は、切り離さない。

## 1 フロントディファレンシャルキャリア ASSY 脱着

- (1) トランスミッションジャッキを使用して、フロントサスペンションメンバーNo.2 を支持する。
- (2) フロントサスペンションメンバーNo.2 を脱着する。



断面図



11

フロントディファレンシャルキャリヤ ASSY 点検

〈参考〉 3～6の点検は不具合のあるものを分解する場合には必ず行う。

1 ディファレンシャルオイル抜き取り

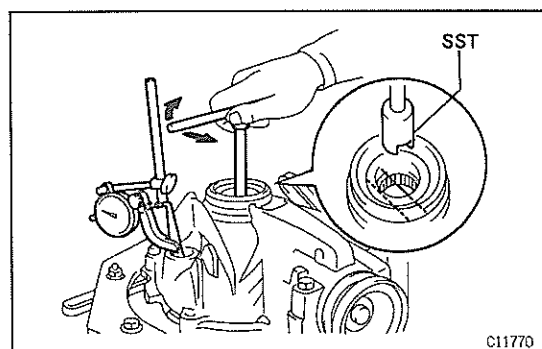
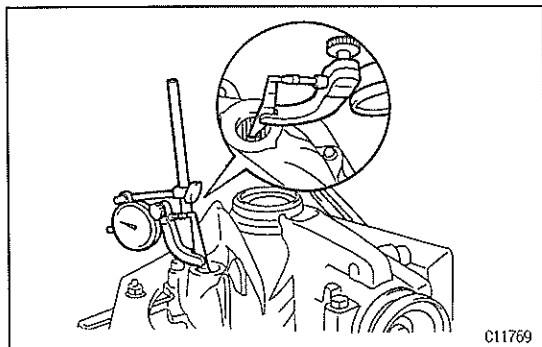
2 ディファレンシャルキャリヤ ASSY 固定

- (1) ディファレンシャルキャリヤ ASSY をオーバーホールアタッチメントに固定する。

〈参考〉 ディファレンシャルキャリヤ ASSY 取り付けボルトで取り付ける。

3 リングギヤバックラッシュ点検

- (1) ドレンプラグ穴よりレバー式測定子を挿入しリングギヤの歯面先端に直角に当て、ドライブピニオンのフランジを固定する。



- (2) SST を使用して、ディファレンシャルケースを正逆回転させてバックラッシュを測定する。

S S T 09564-32011

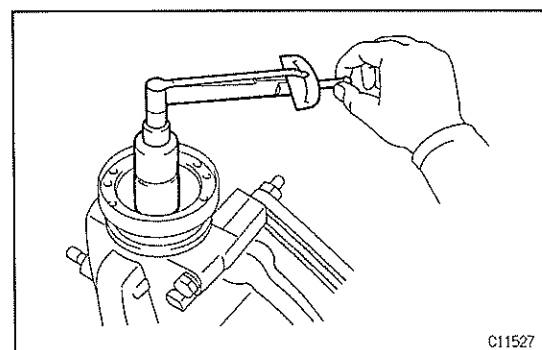
基準値 0.08～0.13mm

● リングギヤ円周上の3箇所以上で測定する。

4 リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検

(「フロントディファレンシャルキャリヤ ASSY 組み付け」

—「リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検」参照)



5 ドライブピニオンプレロード測定

- (1) トルクレンチを使用して、ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値 0.49～0.78N・m {5～8kgf・cm}

6 総合プレロード点検

- (1) トルクレンチを使用して、ドライブピニオンとリングギヤ歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

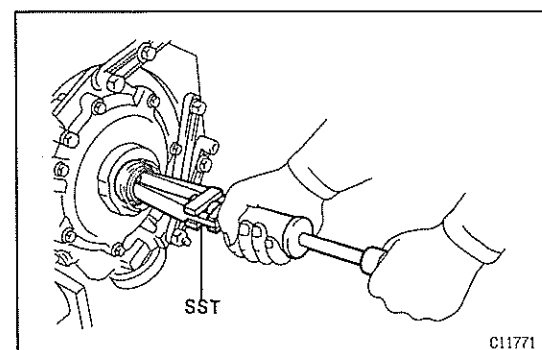
基準値 総合プレロード=ドライブピニオンプレロード  
+0.29～0.49N・m {3～5kgf・cm}

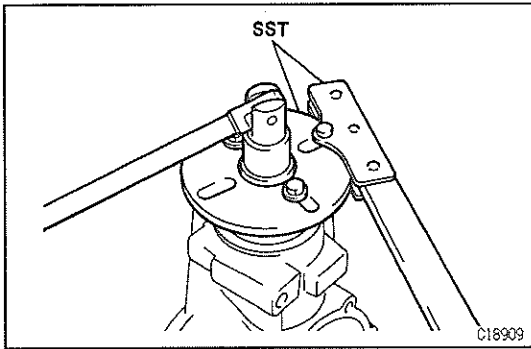
フロントディファレンシャルキャリヤ ASSY 分解

1 サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし

- (1) SST または⊖ドライバーを使用して、オイルシール (RH および LH) を取りはずす。

S S T 09308-00010

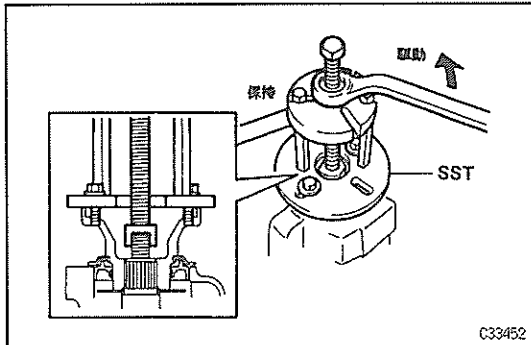




## 2 コンパニオンフランジ取りはずし

- (1) タガネを使用して、ナットのかしめを解く。
- (2) SST を使用して、コンパニオンフランジを固定しナットを取りはずす。

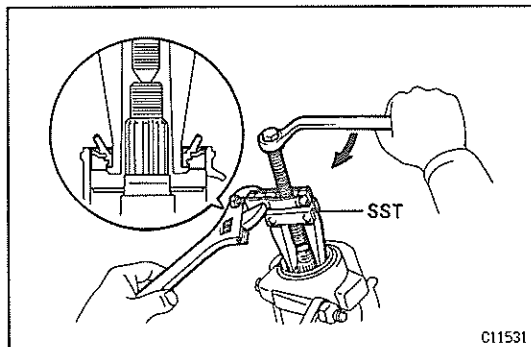
S S T 09330-00021 09955-03030



- (3) SST を使用して、コンパニオンフランジを取りはずす。

S S T 09951-03010 09953-03010 09954-03010  
09955-03030 09956-03020

**注意** SST のセンターボルト (09953-03010) のねじ部に油脂類を塗布して使用する。

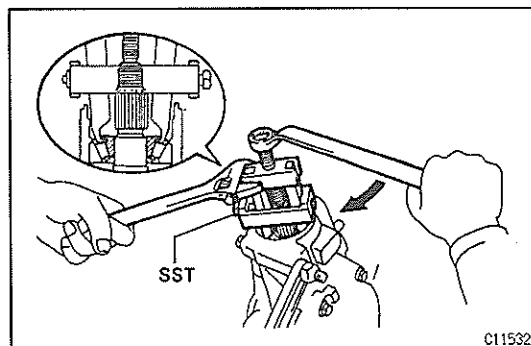


## 3 ドライブピニオンオイルシールおよびドライブピニオンオイルスリンガー取りはずし

- (1) SST を使用して、オイルシールをディファレンシャルキャリアサブ ASSY から取りはずす。

S S T 09308-10010

- (2) ドライブピニオンオイルスリンガーを取りはずす。



## 4 ドライブピニオンリヤベアリングおよびドライブピニオンベアリングスペーサー取りはずし

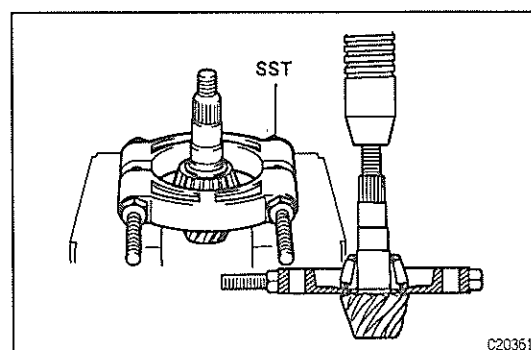
- (1) SST を使用して、ドライブピニオンリヤベアリングをディファレンシャルキャリアサブ ASSY から取りはずす。

S S T 09556-22010

- (2) ドライブピニオンベアリングスペーサーを取りはずす。

## 5 ディファレンシャルサイドベアリングリテーナー取りはずし

- (1) ボルト 7 本を取りはずす。
- (2) プラスパーを使用して、ディファレンシャルサイドベアリングリテーナーを軽くたたいて取りはずす。



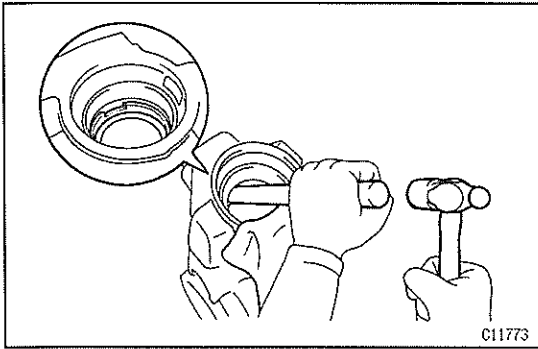
## 6 ディファレンシャルケース ASSY 取りはずし

## 7 ドライブピニオン W/フロントベアリング取りはずし

## 8 ドライブピニオンフロントベアリング取りはずし

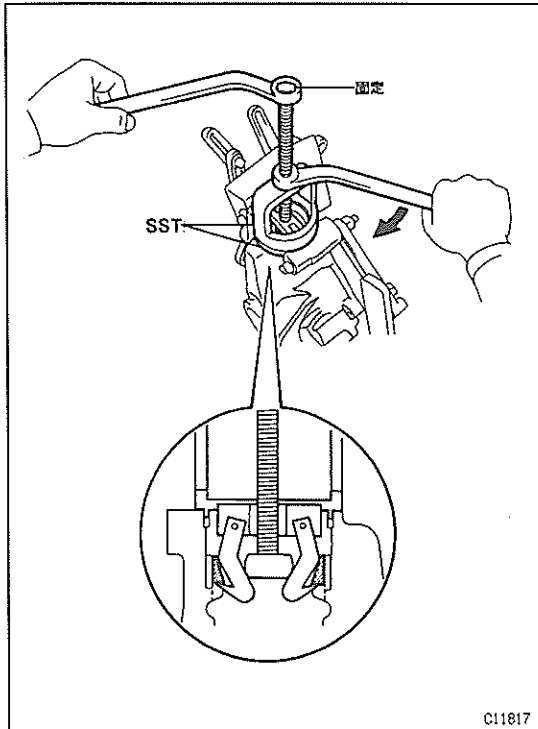
- (1) SST およびプレスを使用して、フロントベアリングをドライブピニオンから取りはずす。

S S T 09550-00020



9 フロントベアリングアウターレース取りはずし

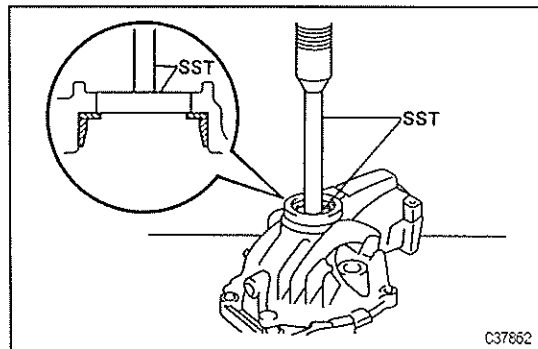
- (1) プラスパーを使用して、ディファレンシャルキャリヤサブ ASSY の凹部からフロントベアリングアウターレースおよびプレートワッシャーを軽く均等にたたきながら打ち抜く。



10 リヤベアリングアウターレース取りはずし

- (1) ディファレンシャルキャリヤサブ ASSY の凹部よりリヤベアリングアウターレースに SST のツメをかける。
- (2) SST を使用して、リヤベアリングアウターレースをディファレンシャルキャリヤサブ ASSY から取りはずす。

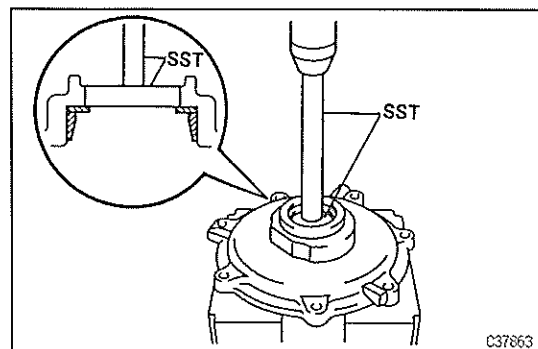
S S T 09502-12010 09612-01020 09612-01050  
09612-65014



11 サイドベアリングアウターレース LH およびプレートワッシャー取りはずし

- (1) SST およびプレスを使用して、サイドベアリングアウターレース LH およびプレートワッシャーを取りはずす。

S S T 09951-00540 09951-07150

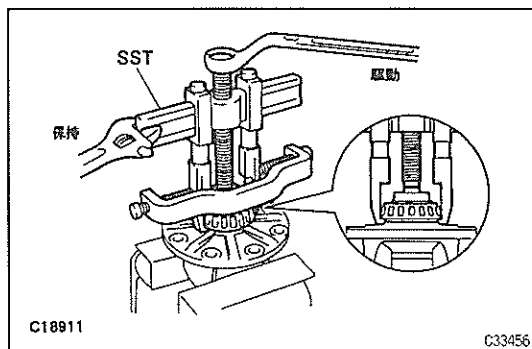
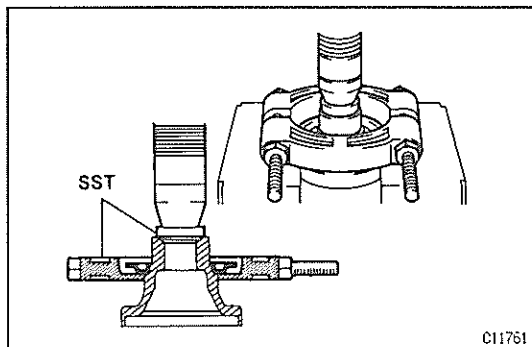
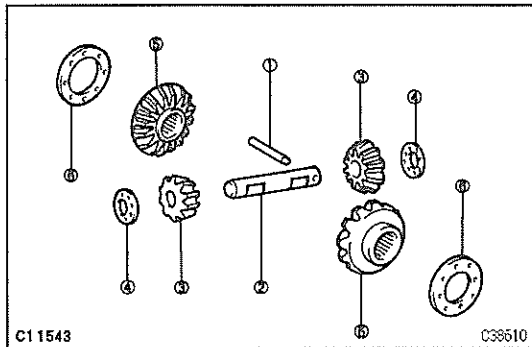
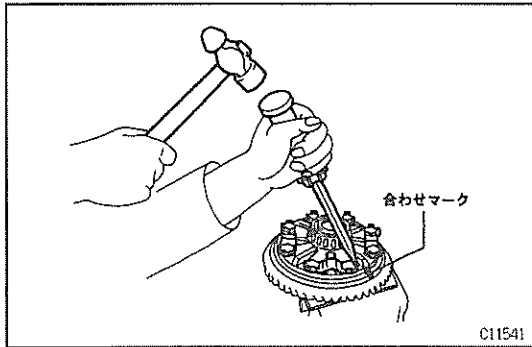


12 サイドベアリングアウターレース RH およびプレートワッシャー取りはずし

- (1) SST およびプレスを使用して、サイドベアリングアウターレース RH およびプレートワッシャーを取りはずす。

S S T 09951-00540 09951-07150

**注意** サイドベアリングアウターレースに左右(背面側、歯面側)の識別マークを付けるかまたは別々に整理する。



### 13 リングギヤ取りはずし

- (1) ディファレンシャルケースとリングギヤに合わせマークを付ける。
- (2) ⊖ドライバーを使用して、ロックプレートのかしめを解く。
- (3) ボルト8本およびロックプレート4個を取りはずす。
- (4) プラスチックハンマーを使用して、リングギヤ外周を軽くたたいて取りはずす。

## フロントディファレンシャル構成部品の

T0040257

## 点検および調整

### 1 ディファレンシャルケース分解

- (1) ピンポンチを使用して、ピニオンシャフトピンを打ち抜く。
- (2) ディファレンシャルケースから次の部品を取りはずす。
  - ① ストレートピン
  - ② ディファレンシャルピニオンシャフト
  - ③ ディファレンシャルピニオン2個
  - ④ ピニオンスラストワッシャー2枚
  - ⑤ ディファレンシャルサイドギヤ2個
  - ⑥ サイドギヤスラストワッシャー2枚

### 2 ピニオンギヤの摩耗点検


### 3 ディファレンシャルケースのき裂、損傷の有無点検

### 4 コンパニオンフランジダストデフレクター交換

- (1) SST およびプレスを使用して、ドライブピニオンダストデフレクターを取りはずす。  
S S T 00950-00020 00951-00430
- (2) SST およびプレスを使用して、新品のドライブピニオンダストデフレクターをドライブピニオンコンパニオンフランジに圧入する。  
S S T 09316-00011

### 5 テーパーローラーベアリング (サイドベアリング) LH および RH 取りはずし

- (1) ディファレンシャルケースの切り欠き部よりベアリングのインナーレースに SST のツメをかける。
- (2) SST を使用して、テーパーローラーベアリング (サイドベアリング) をディファレンシャルケースから取りはずす。  
S S T 09951-00390 09951-04020 09952-04010  
09953-04030 09954-04010 09955-04060  
09957-04010 09958-04010

 SST のセンターボルト (09953-04030) のねじ部、および先端部に油脂類を塗布して使用する。

(参考) テーパーローラーベアリング (サイドベアリング) 交換時以外は、取りはずさない。

フロントディファレンシャルキャリヤ ASSY 組み付け

1 ディファレンシャルケース組み付け

**注意** ・スラストワッシャー、サイドギヤ、ピニオンなどの組み付け時には、ゴミ、切粉などの付着がないことを確認する。

・各摺動部、回転部には、ハイポイドギヤオイル SX を十分塗布する。

- (1) スラストワッシャーをサイドギヤに組み付ける。
- (2) サイドギヤ（ワッシャー付き）、ピニオンギヤ、ピニオンシャフトおよびピニオンスラストワッシャーを組み付ける。

**注意** ピニオンシャフトの固定用穴とケースの穴を合わせる。

- (3) ピニオンをディファレンシャルケースの方へ固定しバックラッシュを点検する。

基準値 0.05～0.20mm

- (4) サイドギヤのバックラッシュが基準値内になり、かつスムーズに回るよう左右両側とも同じサイズのスラストワッシャーを選択し調整する。

〈参考〉 スラストワッシャーの種類

品番	厚さ [mm]
41361-22140	0.92～0.98
41361-22020	0.97～1.03
41361-22150	1.02～1.08
41361-22030	1.07～1.13
41361-22160	1.12～1.18
41361-22040	1.17～1.23

- (5) ピンポンチを使用して、ピニオンシャフトピンをリングギヤの歯面側から打ち込む。
- (6) タガネを使用して、ディファレンシャルケースのピン穴外周をかしめる。

2 リングギヤ組み付け

- (1) リングギヤを熱湯で 90～100℃に加熱する。
- (2) リングギヤとディファレンシャルケースの合わせ面の油脂、水分を十分に清掃する。
- (3) ディファレンシャルケースとリングギヤの合わせマークを合わせて、リングギヤを素早く組み付ける。

**注意** ディファレンシャルケースのボルト穴とリングギヤのねじ穴を合わせる。

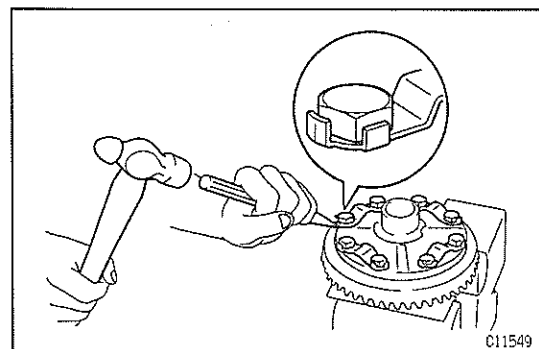
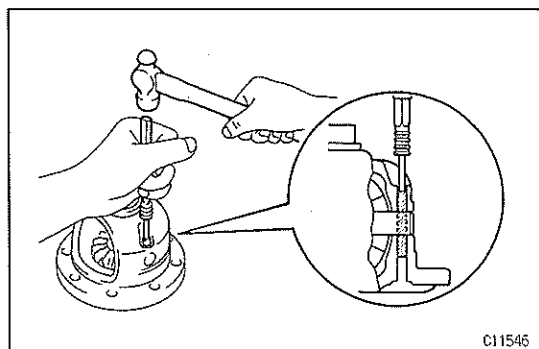
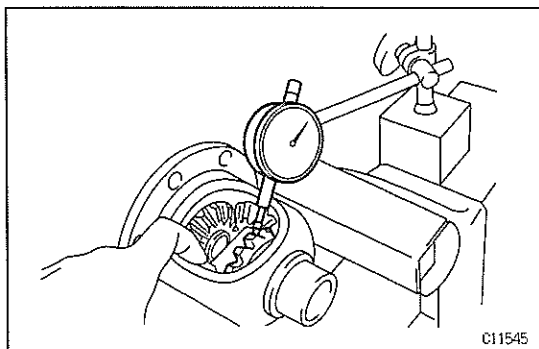
- (4) 新品のロックプレート 4 個を介して、セットボルト 8 本を規定トルクで締め付ける。

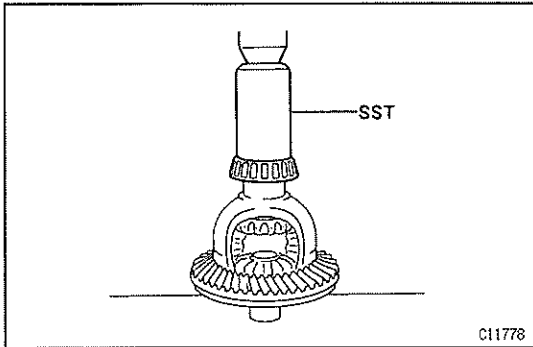
**注意** ・ボルトは、リングギヤが十分冷えてから締め付ける。

・ボルトは、対角線に相対する順に行い、数回に分けて締め付ける。

- (5) タガネを使用して、ロックプレートのツメを起こし回り止めをする。

**注意** ボルトの 2 面幅に接触するツメは、2 面幅部と密着するまで折り曲げる。またボルトの山部と接触してツメ幅が 2 分割になる場合は、ボルトの締め側を密着させる。

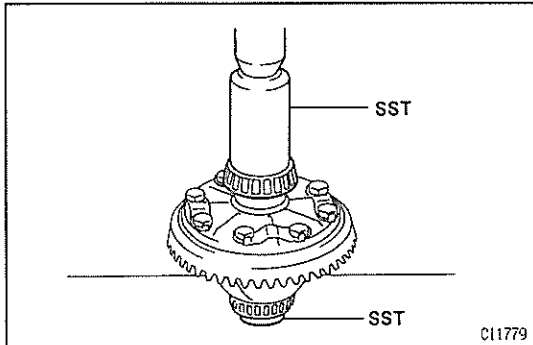




### 3 テーパーローラーベアリング (サイドベアリング) LH 組み付け

- (1) SSTおよびプレスを使用して、サイドベアリング LH をディファレンシャルケースに圧入する。

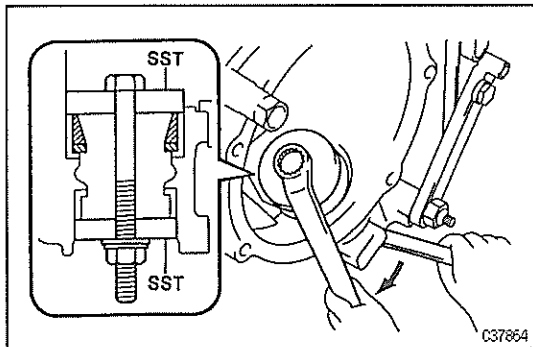
S S T 09636-20010



### 4 テーパーローラーベアリング (サイドベアリング) RH 組み付け

- (1) SSTおよびプレスを使用して、サイドベアリング RH をディファレンシャルケースに圧入する。


S S T 09636-20010 09951-00410



### 5 ドライブピニオンフロントベアリングアウターレースおよびプレートワッシャー (歯当たり調整用) 組み付け

- (1) SST, ボルト (M12×1.25), ナットおよびワッシャーを使用して、プレートワッシャーおよびフロントベアリングアウターレースを組み付ける。

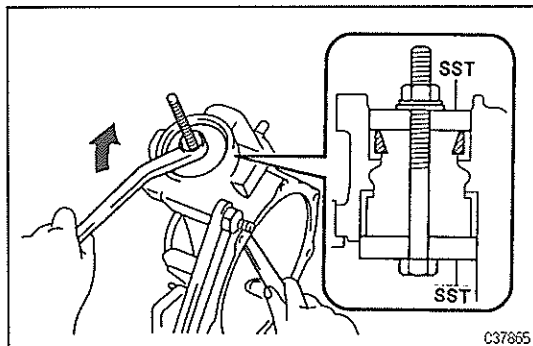
S S T 09951-00810 09951-00640

 プレートワッシャーは取りはずすごとに新品を組み付ける。

〈参考〉 使用するボルトおよびナット

ボルト…M12×P1.25 首下長さ 186mm (90101-12159)

ナット…M12×P1.25 (90179-12051)



### 6 ドライブピニオンリヤベアリングアウターレース組み付け

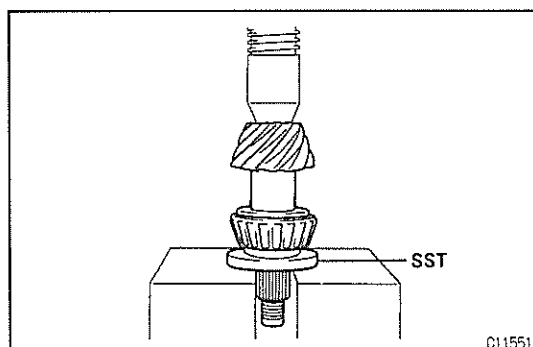
- (1) SST, ボルト (M12×1.25), ナットおよびワッシャーを使用して、リヤベアリングアウターレースを組み付ける。

S S T 09951-00710 09951-00720

〈参考〉 使用するボルトおよびナット

ボルト…M12×P1.25 首下長さ 186mm (90101-12159)

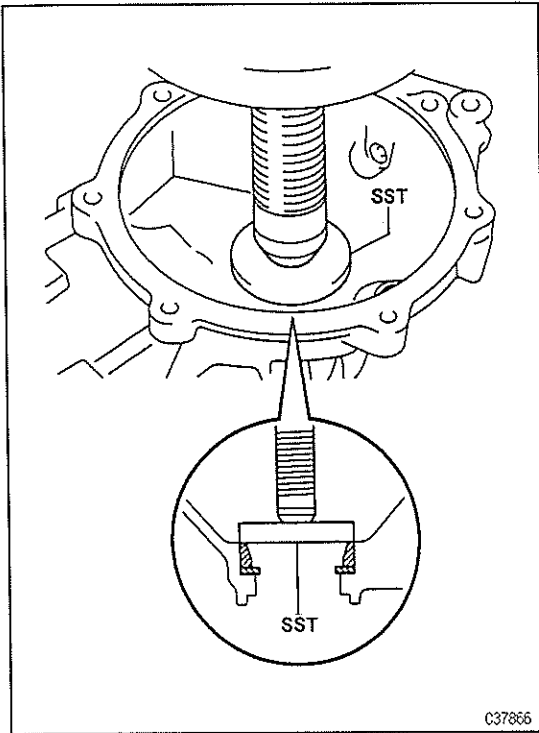
ナット…M12×P1.25 (90179-12051)



### 7 ドライブピニオンフロントベアリング組み付け

- (1) SSTおよびプレスを使用して、フロントベアリングをドライブピニオンに圧入する。

S S T 09506-30012



8 サイドベアリングアウターレース (LH, RH) およびプレートワッシャー組み付け

- (1) SST およびプレスを使用して、アウターレース (LH, RH) およびプレートワッシャーを圧入する。

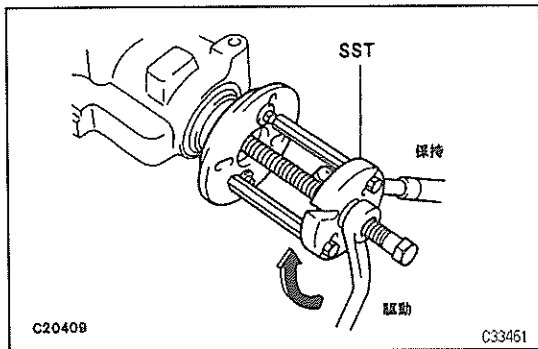
S S T 09951-00730

**注意** オイルシールは歯当たり点検、バックラッシュ調整後に組み付ける。

9 ドライブピニオン W/フロントベアリング, リヤベアリングおよびオイルスリンガー組み付け

- (1) ドライブピニオン W/フロントベアリング, リヤベアリングおよびオイルスリンガーをディファレンシャルキャリヤに組み付ける。

**注意** リングギヤの歯当たり点検のため、スペーサーおよびオイルシールは組み付けず、歯当たり点検、調整後に組み付ける。

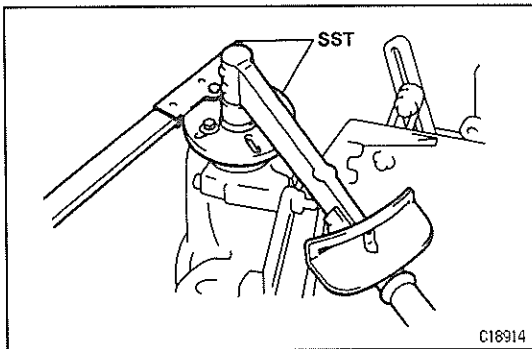


10 コンパニオンフランジ組み付け

- (1) SST を使用してコンパニオンフランジを組み付ける。

S S T 09951-03010 09953-03010 09954-03010  
09955-03030 09956-03020

**注意** SST のセンターボルト (09953-03010) のねじ部に油脂類を塗布して使用する。



11 ドライブピニオンプレロード仮調整

- (1) SST を使用して、新品のナットを規定のプレロードになるように少しずつ締め付ける。

S S T 09330-00021 09955-03030

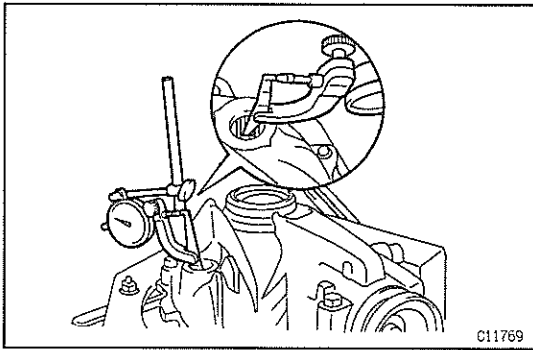
**注意** ・ナットとドライブピニオンのねじ部にハイポイドギヤオイル LSD を塗布する。  
・スペーサーが入っていないので、ナットは少しずつ締め付け、絶対に締めすぎない。

- (2) トルクレンチを使用して、ドライブピニオンの起動トルクを測定する。

基準値 ベアリング新品時 0.98~1.57N・m {10~16kgf・cm}  
ベアリング再使用時 0.49~0.78N・m {5~8kgf・cm}

**注意** ・ベアリングをなじませるため、正転、逆転を数回行った後に測定する。  
・総合プレロード測定のため、プレロードを記録しておく。

12 ディファレンシャルケース ASSY 組み付け



13 リングギヤバックラッシュ調整

- (1) ボルト7本でディファレンシャルサイドベアリングリテーナーを組み付ける。
- (2) ドレインプラグ穴よりレバー式測定子を挿入しリングギヤの歯面先端に当て、コンパニオンフランジを固定する。
- (3) SST を使用して、ディファレンシャルケースを正逆回転させてバックラッシュを測定する。

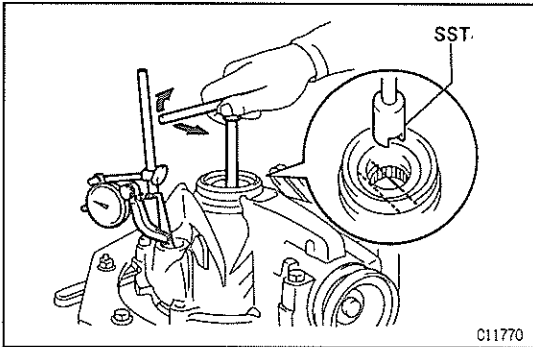
S S T 09564-32011

基準値 0.08~0.13mm

**注** リングギヤ円周上の3箇所以上で測定する。

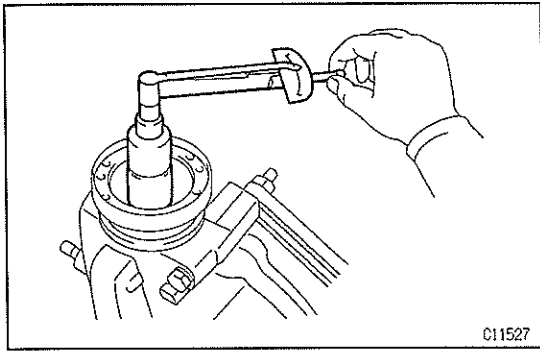
- (4) 基準値以外の場合は左右プレートワッシャーの厚さを同量ずつ増減させて基準値内にする。

(参考) サイドベアリングが新品の場合は、プレートワッシャーを厚さの薄いものから選択して組み付ける。サイドベアリングが再使用の場合は、プレートワッシャーを分解時と同じ厚さのものから組み付ける。



11

品番	識別マーク	厚さ [mm]	品番	識別マーク	厚さ [mm]
90564-50006	01	2.22	90564-50032	27	2.74
90564-50007	02	2.24	90564-50033	28	2.76
90564-50008	03	2.26	90564-50034	29	2.78
90564-50009	04	2.28	90564-50035	30	2.80
90564-50010	05	2.30	90564-50036	31	2.82
90564-50011	06	2.32	90564-50037	32	2.84
90564-50012	07	2.34	90564-50038	33	2.86
90564-50013	08	2.36	90564-50039	34	2.88
90564-50014	09	2.38	90564-50040	35	2.90
90564-50015	10	2.40	90564-50041	36	2.92
90564-50016	11	2.42	90564-50042	37	2.94
90564-50017	12	2.44	90564-50043	38	2.96
90564-50018	13	2.46	90564-50048	39	2.98
90564-50019	14	2.48	90564-50049	40	3.00
90564-50020	15	2.50	90564-50050	41	3.02
90564-50021	16	2.52	90564-50051	42	3.04
90564-50022	17	2.54	90564-50052	43	3.06
90564-50023	18	2.56	90564-50053	44	3.08
90564-50024	19	2.58	90564-50054	45	3.10
90564-50025	20	2.60	90564-50055	46	3.12
90564-50026	21	2.62	90564-50056	47	3.14
90564-50027	22	2.64	90564-50057	48	3.16
90564-50028	23	2.66	90564-50058	49	3.18
90564-50029	24	2.68	90564-50059	50	3.20
90564-50030	25	2.70	90564-50060	51	3.22
90564-50031	26	2.72	-	-	-



C11527

14 総合プレロード測定

- (1) トルクレンチを使用して、総合プレロードを測定する。ドライブピニオンとリングギヤの歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値  $\text{総合プレロード} = \text{ドライブピニオンプレロード} + 0.29 \sim 0.49 \text{N}\cdot\text{m} \{ 3 \sim 5 \text{kgf}\cdot\text{cm} \}$

基準値外の場合はリングギヤの歯面両側のプレートワッシャーで調整する。

15 リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検

- (1) ボルト7本をはずしディファレンシャルサイドベアリングリテーナーを取りはずす。
- (2) ディファレンシャルケースをディファレンシャルキャリアから取りはずす。
- (3) リングギヤの歯面両側に光明丹を均一に薄く塗布する。
- (4) ボルト7本でディファレンシャルサイドベアリングリテーナーを組み付ける。

〔フロントディファレンシャルキャリア ASSY〕

－「フロントディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」参照

- (5) コンパニオンフランジを数回、回転させる。
- (6) ボルト7本をはずし、ディファレンシャルサイドベアリングリテーナーを取りはずす。

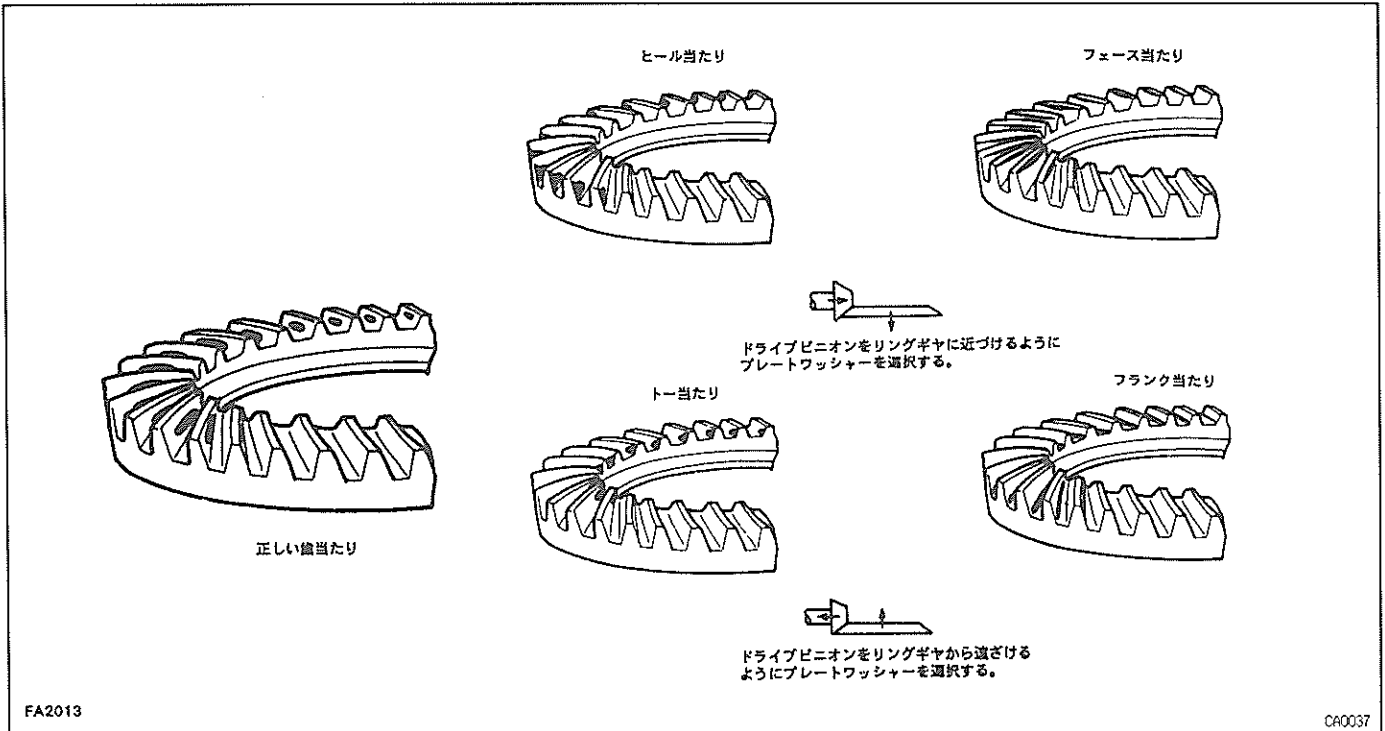
〔フロントディファレンシャルキャリア ASSY〕

－「フロントディファレンシャルキャリア ASSY 分解」参照

- (7) ドライブピニオンとリングギヤの歯当たりを点検する。

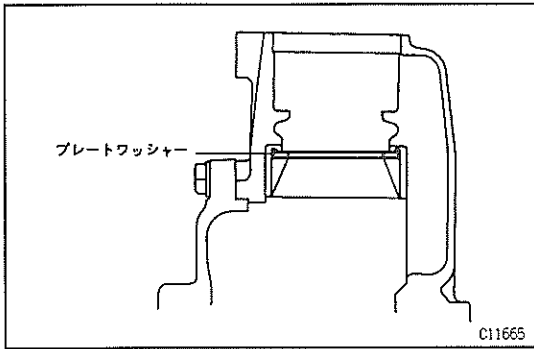


リングギヤ円周上2箇所で当たり状態をみる。



FA2013

CA0037



(8) 歯当たりが不良の場合は、ドライブピニオンフロントベアリングアウターレース部のプレートワッシャーを表から選択し、再度組み付ける。

- **注意** ・フェース当たり、フランク当たりの場合はバックラッシュ基準値内で調整可能な場合もある。
- ・プレートワッシャー（歯当たり調整用）の厚さを変えた場合は、バックラッシュ調整および総合プレロード測定が必要。
- ・プレートワッシャー（歯当たり調整用）は再使用できない。

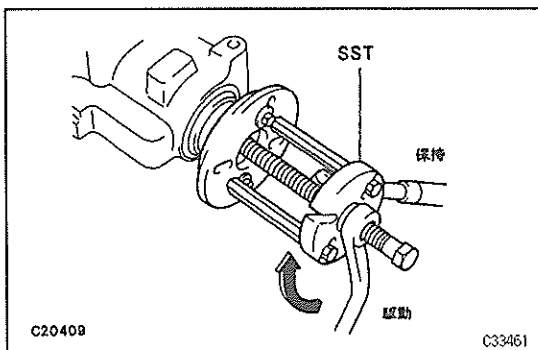
〈参考〉 プレートワッシャーの種類

品番	識別マーク	厚さ [mm]	品番	識別マーク	厚さ [mm]
90564-54005	35	2.35	90564-54023	53	2.53
90564-54006	36	2.36	90564-54024	54	2.54
90564-54007	37	2.37	90564-54025	55	2.55
90564-54008	38	2.38	90564-54026	56	2.56
90564-54009	39	2.39	90564-54027	57	2.57
90564-54010	40	2.40	90564-54028	58	2.58
90564-54011	41	2.41	90564-54029	59	2.59
90564-54012	42	2.42	90564-54030	60	2.60
90564-54013	43	2.43	90564-54031	61	2.61
90564-54014	44	2.44	90564-54032	62	2.62
90564-54015	45	2.45	90564-54033	63	2.63
90564-54016	46	2.46	90564-54034	64	2.64
90564-54017	47	2.47	90564-54035	65	2.65
90564-54018	48	2.48	90564-54036	66	2.66
90564-54019	49	2.49	90564-54037	67	2.67
90564-54020	50	2.50	90564-54038	68	2.68
90564-54021	51	2.51	90564-54039	69	2.69
90564-54022	52	2.52	90564-54040	70	2.70

- 16 ナットおよびコンパニオンフランジ取りはずし
- 17 オイルスリンガーおよびリヤベアリング取りはずし
- 18 ディファレンシャルケース取りはずし
- 19 ドライブピニオンベアリングスペーサー組み付け

(1) ドライブピニオンに新品のベアリングスペーサーを組み付ける。

● **注意** 内径の大きい方をフロント側へ向ける。

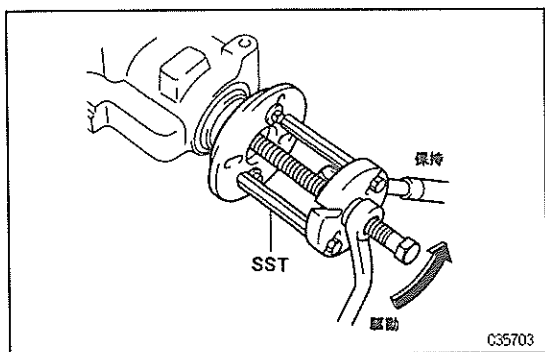


20 ドライブピニオンリヤベアリング組み付け

- (1) ドライブピニオンリヤベアリングをドライブピニオンに組み付ける。
- (2) SST およびコンパニオンフランジを使用して、ドライブピニオンリヤベアリングを組み付ける。

S S T 09951-03010 09953-03010 09954-03010  
09955-03030 09956-03020

● **注意** SST のセンターボルト (09953-03010) のねじ部に油脂類を塗布して使用する。



21 ドライブピニオンオイルスリンガーおよびドライブピニオンオイルシール組み付け

(1) SSTを使用して、コンパニオンフランジを取りはずす。

S S T 09951-03010 09953-03010 09954-03010  
09955-03030 09956-03020

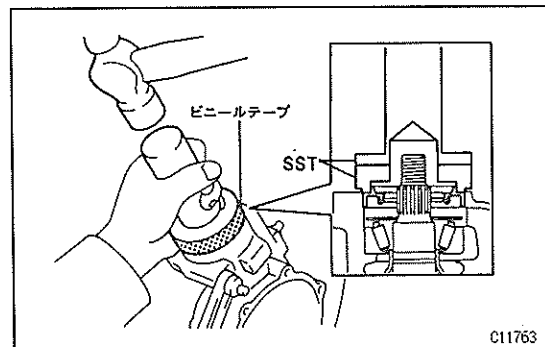
**注意** SSTのセンターボルト(09953-03010)のねじ部に油脂類を塗布して使用する。

(2) ドライブピニオンにドライブピニオンオイルスリンガーを組み付ける。

(3) SSTおよびハンマーを使用して、新品のオイルシールを打ち込む。

S S T 09309-36010 09502-12010  
基準値 オイルシール打ち込み量(キャリア内端面より)  
1 ± 0.3mm

**注意** ・2個のSSTをビニールテープで固定する。  
・オイルシールリップ部にMPグリースNo.2を塗布する。



22 コンパニオンフランジ組み付け

(1) SSTを使用して、コンパニオンフランジを組み付ける。

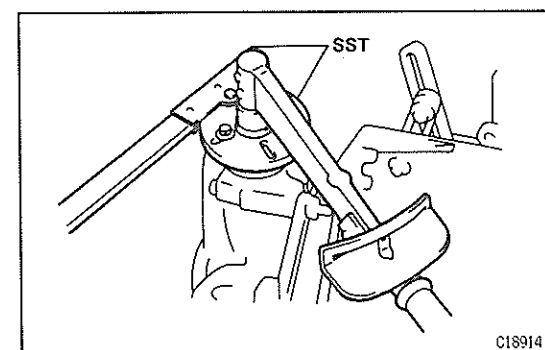
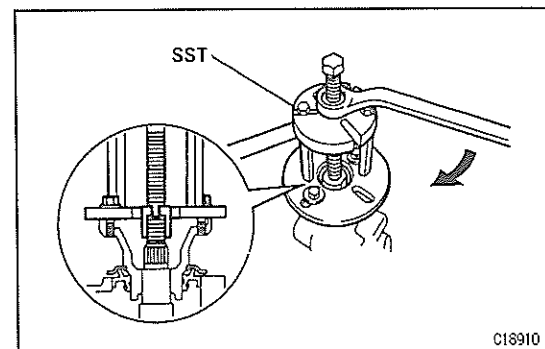
S S T 09951-03010 09953-03010 09954-03010  
09955-03030 09956-03020

**注意** SSTのセンターボルト(09953-03010)のねじ部に油脂類を塗布して使用する。

(2) SSTを使用してフランジを固定し、規定トルクで締め付ける。

S S T 09330-00021 09955-03030

**注意** 新品のナットのねじ部にハイポイドギヤオイルSXを塗布する。



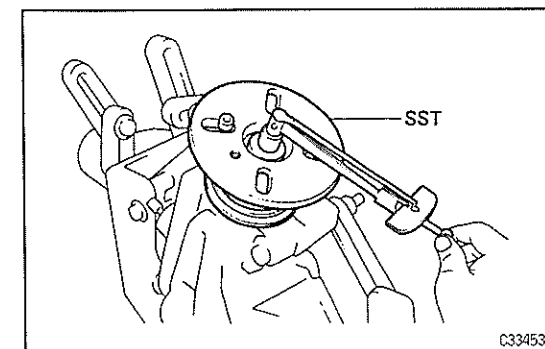
23 ドライブピニオンプレロード調整

(1) トルクレンチを使用して、ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値 ベアリング新品時 0.98~1.57N・m {10~16kgf・cm}  
ベアリング再使用時 0.49~0.78N・m {5~8kgf・cm}

**注意** ベアリングをなじませるためフランジの正転、逆転を数回行った後に測定する。

(2) プレロードが過大の場合は、ドライブピニオンベアリングスベアーを交換する。

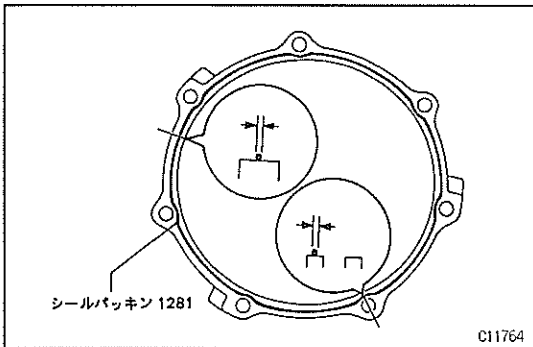


- (3) プレロードが不足の場合は、ナットを5~10°ずつ増し締めし、プレロードを測定し、基準値になるように繰り返し調整する。
- (4) ナットの締め付けトルクが限度値を越えてもプレロード不足の場合はナットを一度ゆるめて、ナットおよびドライブピニオンのねじ山がつぶれていないか点検する。
- 異常がないならば、スペーサーを交換し、ねじ部にギヤオイルを塗布したのち前記作業を繰り返す。

#### 24 ディファレンシャルケース ASSY 組み付け

#### 25 ディファレンシャルサイドベアリングリテーナー組み付け

- (1) ディファレンシャルキャリアサブ ASSY およびディファレンシャルサイドベアリングリテーナーに付着しているシールパッキンを、スクレーパー等で清掃後、洗浄液で油分を落とす。
- (2) 左図の位置にシールパッキン 1281 を塗布する。
- 注意** ・シールパッキンはφ1~φ2で切れのないように塗布する。  
・塗布の終わりは10mm以上オーバーラップさせる。  
・シールパッキン塗布後、3分以内に組み付ける。
- (3) ボルト7本で組み付ける。



- 注意** カバー組み付け後は、すぐオイルを注入したり、走行したりせず、1時間以上放置する。また、その後12時間以内は急激な加減速を避ける。

#### 26 総合プレロード点検

〔フロントディファレンシャルキャリア ASSY 点検〕

—「総合プレロード点検」参照

$$\text{基準値} \quad \text{総合プレロード} = \text{ドライブピニオンプレロード} + 0.29 \sim 0.49 \text{N} \cdot \text{m} \quad (+3 \sim 5 \text{kgf} \cdot \text{cm})$$

#### 27 ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュ点検

〔フロントディファレンシャルキャリア ASSY 点検〕

—「リングギヤバックラッシュ点検」参照

S S T 09564-32011

基準値 0.08~0.13mm

**注意** リングギヤ円周上の3箇所以上で測定する。

#### 28 リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検

〔フロントディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け〕—

〔リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検〕参照

#### 29 ドライブピニオンナットかしめ

#### 30 サイドギヤシャフトオイルシール組み付け

- (1) SST を使用して、新品のオイルシール2個をディファレンシャルキャリア ASSY に組み付ける。

S S T 09223-00010

基準値 オイルシール打ち込み量 (キャリア端面より)  
1.5±0.5mm

**注意** オイルシールリップ部に MP グリースNo.2 を塗布する。

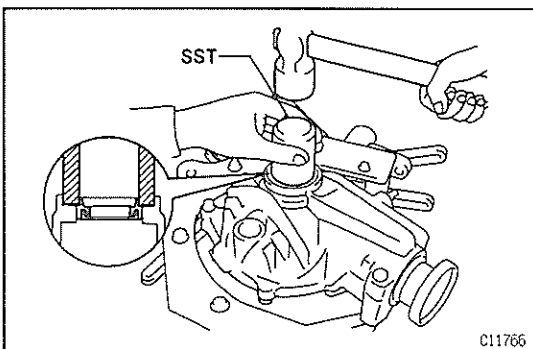
#### 31 ドレインプラグ組み付け

#### 32 フィラープラグ組み付け

〔参考〕 フィラープラグは仮締めしておきオイル注入後、締め付ける。

#### 33 ディファレンシャルキャリア ASSY 取りはずし

- (1) ディファレンシャルキャリア ASSY をオーバーホールアタッチメントから取りはずす。

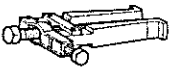
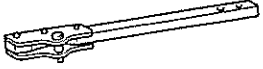
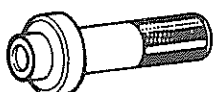
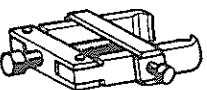
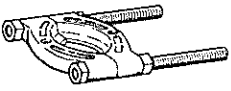






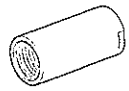


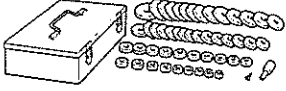

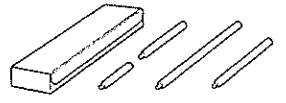
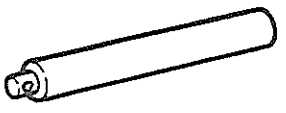
# リヤドライブピニオン

# オイルシール

## 準備品

S S T

	09308-10010	オイルシールブラー	ドライブピニオンオイルシール取りはずし用
	09330-00021	コンパニオンフランジ ホールディングツール	コンパニオンフランジ保持用
	09554-30011	ディファレンシャルオイルシール リプラーサー	ドライブピニオンオイルシール取り付け用
	09556-22010	ドライブピニオンフロント ベアリングリムーバー	テーパードロローベアリング（フロントベアリング）取りはずし用
	09950-00020	ベアリングリムーバー	ドライブピニオンダストデフレクター取りはずし用
	09950-30010	ブレード A セット	
	(09951-03010)	アッパープレート	コンパニオンフランジ脱着用
	(09953-03010)	センターボルト *	コンパニオンフランジ脱着用
	(09954-03010)	アーム	コンパニオンフランジ脱着用
	(09955-03030)	ローアプレート 130	コンパニオンフランジ脱着用
	(09956-03020)	アダプター 18	コンパニオンフランジ脱着用（7.5 インチ）
	(09956-03030)	アダプター 20	コンパニオンフランジ脱着用（8 インチ）

	09950-60010	リプレーサーセット	
	(09951-00510)	リプレーサー 51 *	ドライブピニオンダストデフレクター取りはずし用
	09950-70010	ハンドルセット	
	(09951-07150)	ハンドル 150	ドライブピニオンダストデフレクター取りはずし用

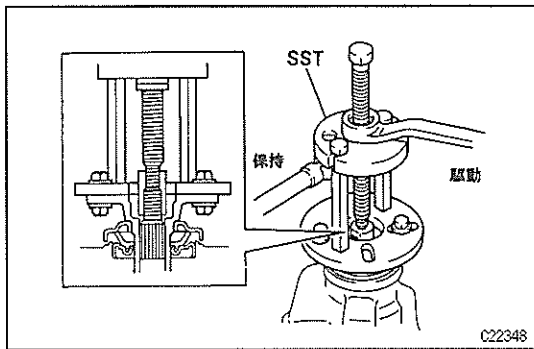
## 工 具

タガネ	11101	ドライブピニオンナットかしめ解きおよびかしめ用
トルクレンチ [0~3N・m {0~30kgf・cm}]	20114	プレロード測定用
トルクレンチ [69~412N・m {700~4200kgf・cm}]	20121	ドライブピニオンナット締め付け用

## 油脂・その他

トヨタ純正 MP グリースNo.2	30204	オイルシールリップ部塗布用
トヨタ純正 ハイポイドギヤオイル SX	30709	ディファレンシャル (除く 2 ピニオン LSD) 注入用
トヨタ純正 ハイポイドギヤオイル LSD	30711	ディファレンシャル (2 ピニオン LSD) 注入用およびドライブピニオン塗布用

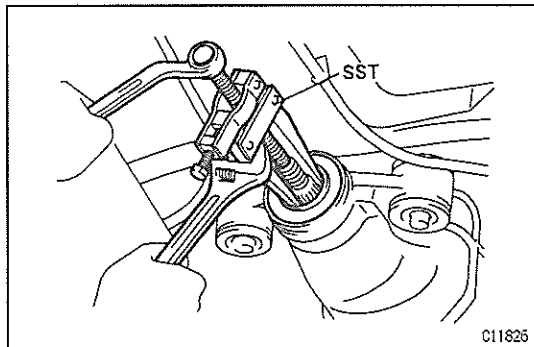




(3) SST を使用して、コンパニオンフランジを脱着する。

S S T 09951-03010 09953-03010 09954-03010  
09955-03030 09956-03020(7.5 インチ)  
09956-03030(8 インチ)

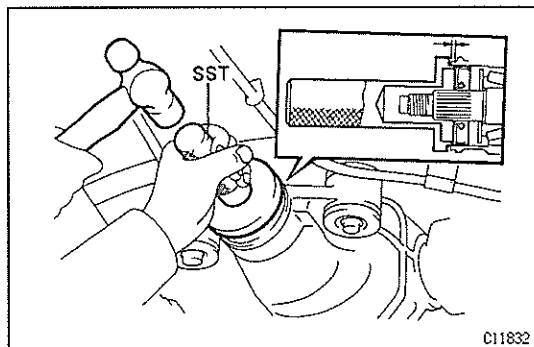
**注意** SST のセンターボルト (09953-03010) のねじ部に油脂類を塗布して使用する。



## 2 ドライブピニオンオイルシール脱着

(1) SST を使用して、オイルシールを取りはずす。

S S T 09308-10010

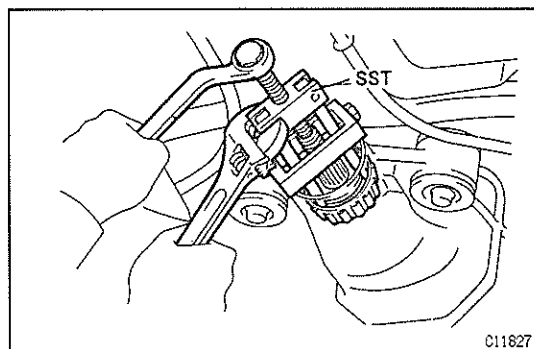


(2) 取り付ける際、SST を使用して、新品のオイルシールを打ち込む。

S S T 09554-30011

基準値 オイルシール打ち込み量 (キャリア端面から) 1.5mm

**注意** オイルシールリップ部に MP グリースNo.2 を塗布する。



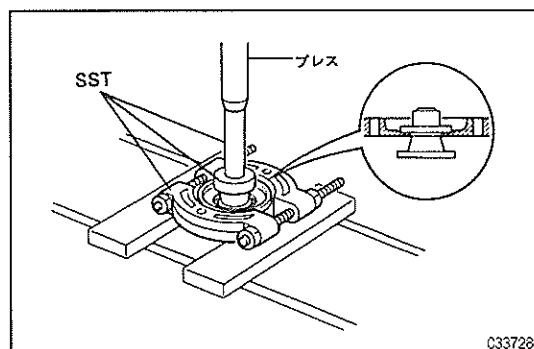
## 3 テーパーローラーベアリング (フロントベアリング) 取りはずし

(1) SST を使用して、テーパーローラーベアリングを取りはずす。

S S T 09556-22010

(2) 取り付ける際は、新品のドライブピニオンベアリングスペーサーを取り付ける。

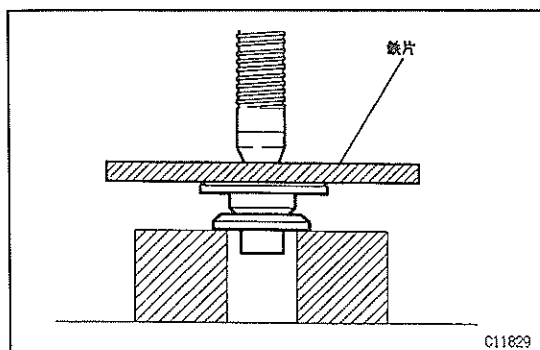
**注意** 内径の大きい方をリヤ側に向ける。



## 4 ドライブピニオンダストデフレクター交換

(1) SST およびプレスを使用して、ドライブピニオンダストデフレクターを取りはずす。

S S T 09950-00020 09951-00510 09951-07150



(2) プレスを使用して、新品のダストデフレクターを圧入する。

- 圧入時は、ダストデフレクターを確認しながら、少しずつゆっくりと行い、圧入し過ぎない。
- 圧入時にバリが発生した場合は取り除く。

### 5 ドライブピニオンプレロード点検

(1) トルクレンチを使用して、ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値

	7.5 インチ	8 インチ
ベアリング新品時	1.18~1.86N・m {12~19kgf・cm}	1.08~1.67N・m {11~17kgf・cm}
ベアリング再使用时	0.59~0.98N・m {6~10kgf・cm}	0.59~0.88N・m {6~9kgf・cm}

● ベアリングをなじませるためフランジの正転、逆転を数回行った後に測定する。

- (2) プレロードが過大の場合は、ベアリングスペーサーを交換する。
- (3) プレロードが不足の場合は、ナットを5~10°ずつ増し締めし、プレロードを測定し、基準値になるように繰り返し調整する。
- (4) ナットの締め付けトルクが限度値を超えてもプレロード不足の場合は、ナットを一度ゆるめて、ナットおよびドライブピニオンのねじ山がつぶされていないか点検する。
- (5) 異常がないならば、スペーサーを交換し、ねじ部にハイポイドギヤオイル SX およびハイポイドギヤオイル LSD を塗布したのち前記作業を繰り返す。

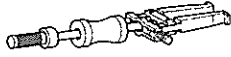
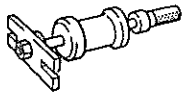

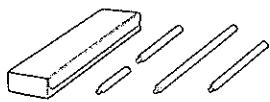

### 6 オイル量点検, 調整

(「基本点検」 - 「ディファレンシャルオイル量点検」参照)

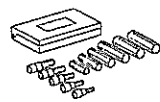
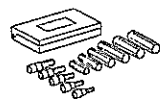
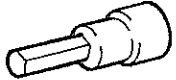
# リヤサイドギヤシャフト オイルシール

## 準備品

### SST

	09308-00010	オイルシールプラー	サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし用
	09520-24010	ディファレンシャルサイドギヤシャフトプラー	サイドギヤシャフト脱着用
	09550-00032	リプリーサー	サイドギヤシャフトオイルシール取り付け用
	09950-70010	ハンドルセット	
	(09951-07150)	ハンドル 150	サイドギヤシャフトオイルシール取り付け用

### 工具

	プラスチックハンマー	12101	ドライブシャフト取りはずし用
	09040-00010	ヘキサゴンレンチセット	
	(09043-20080)	ソケットヘキサゴンレンチ 8	ドライブシャフト脱着用 (1JZ-GE 搭載車)
		*	
	ソケットヘキサゴンレンチ 10 09043-20100	70026	ドライブシャフト脱着用 (1JZ-GTE, 2JZ-GE 搭載車)
	トルクレンチ [30~190N・m {300~1900kgf・cm}]	20118	ドライブシャフト締め付け用

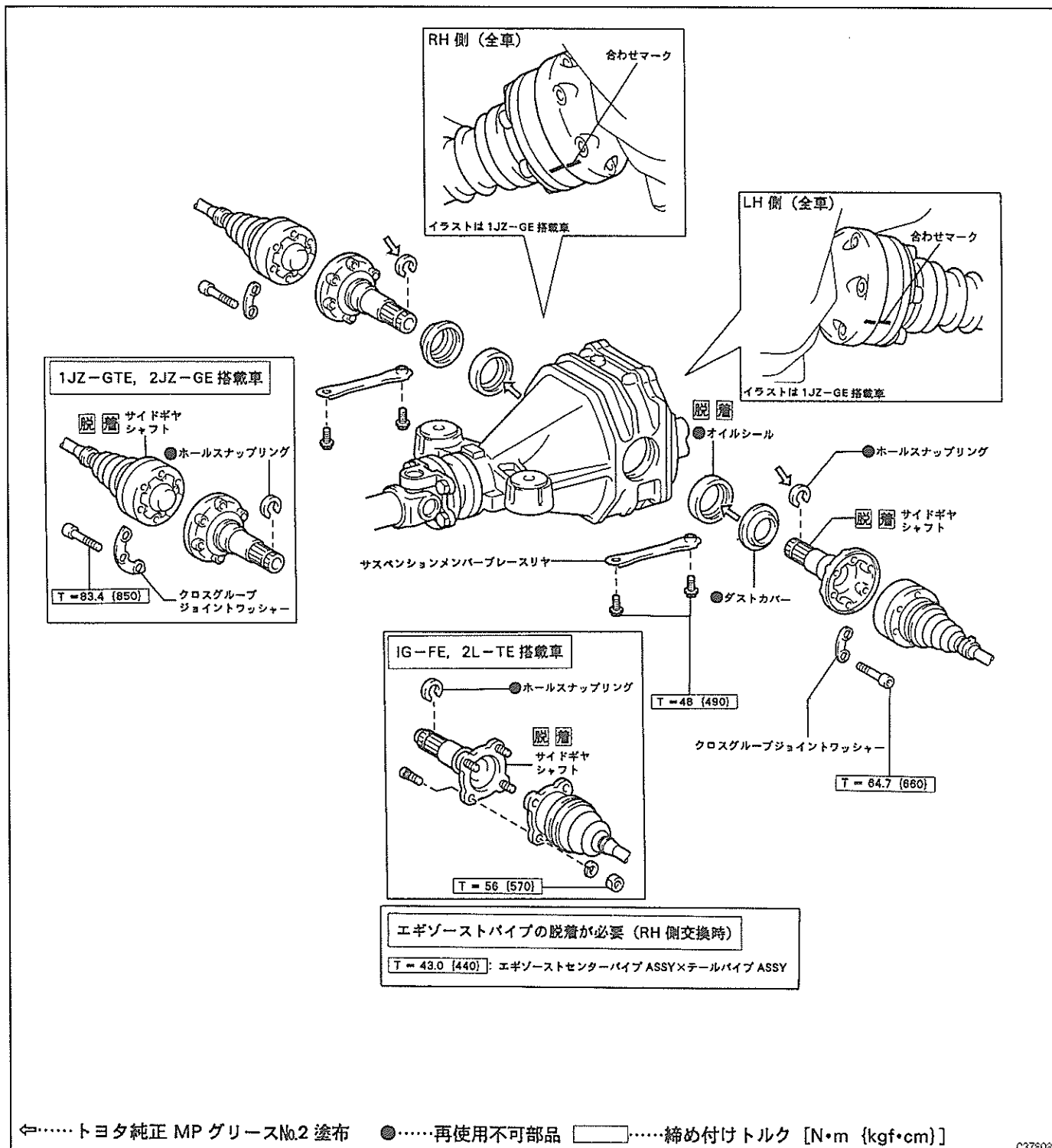
### 油脂・その他

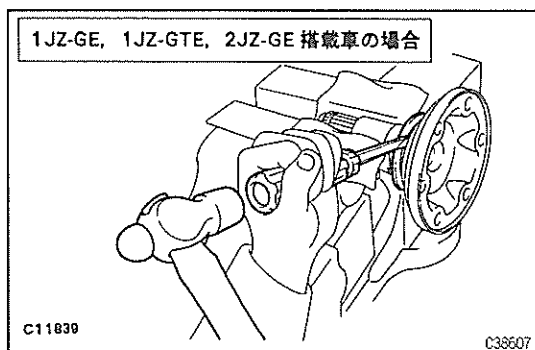
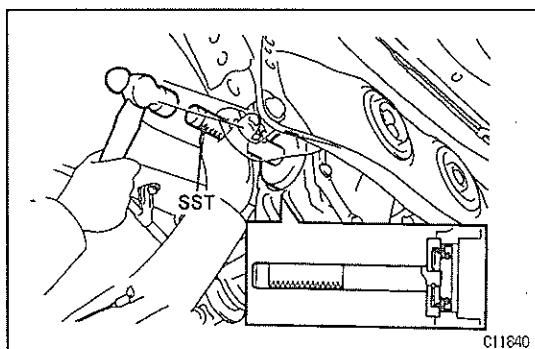
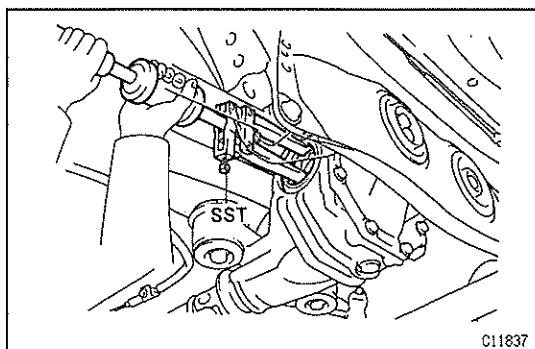
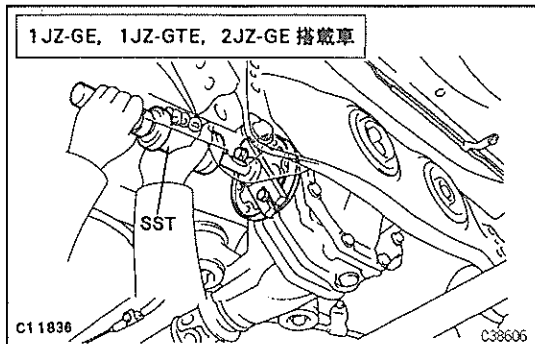
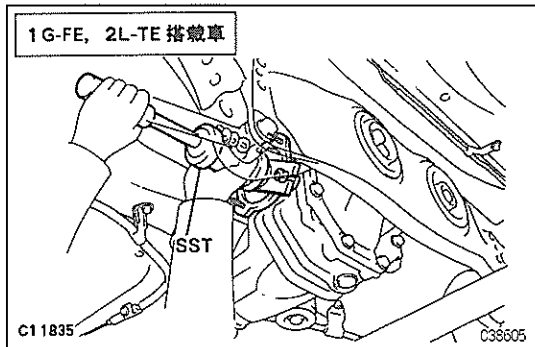
トヨタ純正 MP グリースNo.2	30204	オイルシールリップ部塗布用
トヨタ純正 ハイポイドギヤオイル SX	30709	ディファレンシャル (除く 2 ビニオン LSD) 注入用
トヨタ純正 ハイポイドギヤオイル LSD	30711	ディファレンシャル (2 ビニオン LSD) 注入用

# リヤサイドギヤシャフトオイルシール

## 脱着構成図

- **注意** ・ドライブシャフトのインボードジョイントエンドカバーおよびブーツを傷つけないように気をつける。
- ・ポンチで合わせマークを付けない。





## リヤサイドギヤシャフトオイルシール

## 脱着作業上の留意点

## 1 サイドギヤシャフト脱着

- (1) SST をサイドギヤシャフトに固定し、サイドギヤシャフトを脱着する。

S S T 09520-24010

**注意** 取り付け時、スナップリングの切り口を下向きにして組み付ける。

・新品のスナップリングに MP グリース№2 を塗布する。

・挿入時、斜めに打ち込まない。斜めに打ち込んだ場合は、スナップリングを新品に取り替え、再度打ち込む。

・オイルシールを傷つけない。

(参考) 打ち込み時、SST の反発力の変化あるいは音質の変化でピニオンシャフトに当たっていることを判断できる。

## 2 サイドギヤシャフトオイルシール脱着

- (1) SST を使用して、オイルシールを取りはずす。

S S T 09308-00010

- (2) 取り付け時、SST を使用して新品のオイルシールをキャリヤ端面まで打ち込む。

S S T 09550-00032 09951-07150

基準値 キャリヤ端面から  $0 \pm 0.5\text{mm}$

**注意** オイルシールリップ部に MP グリース№2 を塗布する。

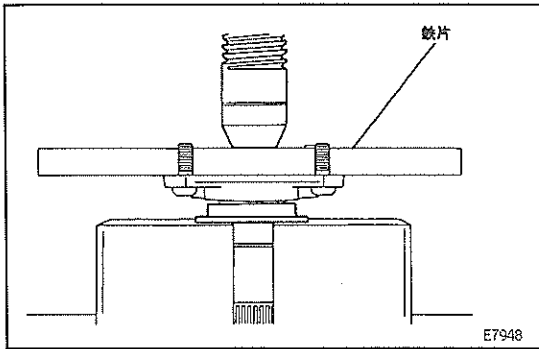
## 3 サイドギヤシャフトダストカバー交換

- (1) シャフト部にウェスを巻きバイスに固定する。

**注意** バイスは強く締めすぎない。

- (2) ⊖ドライバーを使用して、ダストカバーを取りはずす。

- (3) ⊖ドライバーを使用して、ホールスナップリングを取りはずす。



(4) プレスを使用して、新品のダストカバーをサイドギヤシャフトに当たるまで圧入する。

**注意** 圧入時は、ダストカバーを確認しながら、少しずつゆっくりと行い、圧入しすぎない。



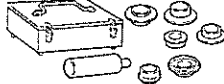



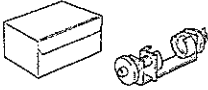
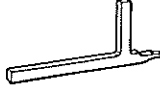

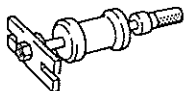
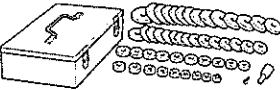

#### 4 オイル量点検, 調整

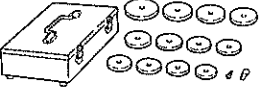
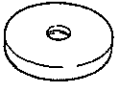

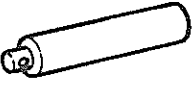

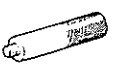





(「基本点検」 - 「ディファレンシャルオイル量点検」参照)





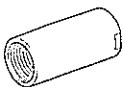

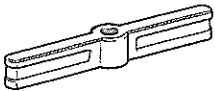
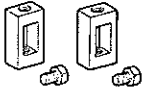
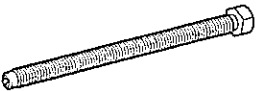

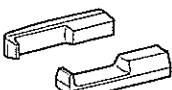

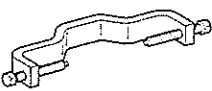
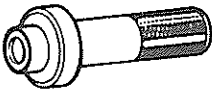
# リヤディファレンシャル キャリア ASSY

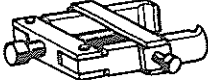


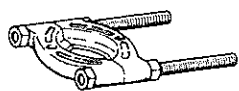
## 準備品

S S T

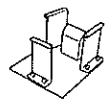

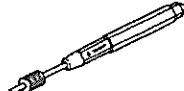

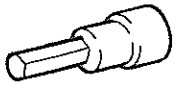
	09308-00010	オイルシールブラー	サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし用
	09308-10010	オイルシールブラー	ドライブピニオンオイルシール取りはずし用
	09316-60011	トランスミッション & トランスファーベアリングリブレーサー	
	(09316-00011)	リブレーサーパイプ	テーパードロローベアリング (サイドベアリング) 取り付け用 (8 インチ)
	(09316-00031)	リブレーサー B	a 寸法測定用 (2 ピニオン LSD)
	09330-00021	コンパニオンフランジ ホールディングツール	コンパニオンフランジ保持用
	09411-22012	サイドギヤスラストワッシャー アジャストツール	a 寸法および C 寸法測定用 (2 ピニオン LSD)
	09504-22011	ディファレンシャルサイド ワッシャーリムーバー & リブレーサー	プレートワッシャー脱着用
	09506-30012	ディファレンシャルドライブ ピニオンリヤベアリングコーン リブレーサー	ドライブピニオンリヤベアリング取り付け用
	09520-24010	ディファレンシャルサイドギヤ シャフトブラー	サイドギヤシャフト脱着用
	09950-60010	リブレーサーセット	
	(09951-00330)	リブレーサー 33 *	ディファレンシャルケースカバー脱着用 (2 ピニオン LSD)

<p>リプレーサー-50 09951-00500</p>	<p>70120</p>	<p>ディファレンシャルケースカバー脱着用 (2ピニオン LSD)</p>
	<p>09950-60020 リプレーサーセットNo.2</p>	
	<p>(09951-00720) リプレーサー 72 *</p>	<p>フロントベアリングアウターレース取り付け用</p>
<p>リプレーサー-79 09951-00790</p>	<p>70143</p>	<p>リヤベアリングアウターレース取り付け用 (7.5インチ)</p>
<p>リプレーサー-89 09951-00890</p>	<p>70145</p>	<p>リヤベアリングアウターレース取り付け用 (8インチ)</p>
	<p>09950-70010 ハンドルセット</p>	
	<p>(09951-07100) ハンドル 100</p>	<p>ディファレンシャルケースカバー脱着用 (2ピニオン LSD)</p>
<p>ハンドル150 09951-07150</p>	<p>70149</p>	<p>サイドギヤシャフトオイルシール取り付け用</p>
<p>ハンドル200 09951-07200</p>	<p>70150</p>	<p>ドライブピニオンベアリングアウターレース取り付け用</p>
	<p>09950-10012 リプレーサーセット B</p>	
	<p>(09252-10010) リプレーサーハンドルNo.1</p>	<p>テーパードロローベアリング (サイドベアリング) 取り付け用</p>
	<p>(09557-10010) ディファレンシャルドライブ ピニオンフロントベアリング リプレーサー</p>	<p>テーパードロローベアリング (サイドベアリング) 取り付け用</p>
	<p>(09558-10010) リヤアクスルシャフトオイル シールリプレーサー</p>	<p>テーパードロローベアリング (サイドベアリング) 取り付け用</p>
	<p>09550-00032 リプレーサー</p>	<p>サイドギヤシャフトオイルシール取り付け用</p>
	<p>09950-30010 プラー A セット</p>	
	<p>(09951-03010) アッパープレート</p>	<p>コンパニオンフランジ脱着用</p>

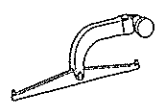
	(09953-03010) センターボルト *	コンパニオンフランジ脱着用
	(09954-03010) アーム	コンパニオンフランジ脱着用
	(09955-03030) ロアプレート 130	コンパニオンフランジ脱着用
	(09956-03020) アダプター 18	コンパニオンフランジ脱着用 (7.5 インチ)
	(09956-03030) アダプター 20	コンパニオンフランジ脱着用 (8 インチ)
	09950-40010 プラー B セット	
	(09951-04020) ハンガー 200	テーバードローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	(09952-04010) スライドアーム	テーバードローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	(09953-04030) センターボルト 200 *	テーバードローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	(09954-04010) アーム 25	テーバードローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	(09955-04060) クロウ No. 6	テーバードローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	(09957-04010) アタッチメント	テーバードローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	(09958-04010) ホルダー	テーバードローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
	09554-30011 ディファレンシャルオイルシール リブレーサー	ドライブピニオンオイルシール取り付け用

	09556-22010	ドライブピニオンフロント ベアリングリムーバー	テーパーローラーベアリング (フロントベアリング) 取りはずし用
	09710-22021	フロントサスペンション プッシュツールセット	
	(09710-01031)	アッパーアームブッシュ リプレサー	a 寸法測定用 (2 ピニオン LSD)
	09950-00020	ベアリングリムーバー	ドライブピニオンリヤベアリング取りはずし用

工 具

	HUJ-1TB TL-AT	トランスミッションジャッキア タッチメント (脚バンザイ扱い 脚イヤサカ扱い)	ディファレンシャルキャリア ASSY 脱着用
	ES-5TB TL-FR	FR 用 A/T オーバーホールア タッチメント (脚バンザイ扱い 脚イヤサカ扱い)	ディファレンシャルキャリア固定用
	09031-00040	ピンポンチ (φ 5mm) *	ストレートピン脱着用
	09040-00010	ヘキサゴンレンチセット	
	(09043-20060)	ソケットヘキサゴンレンチ 6 *	リヤスタビライザーバー脱着用
	ソケットヘキサゴンレンチ 8 09043-20080	70025	ドライブシャフト脱着用 (1JZ-GE 搭載車)
	ソケットヘキサゴンレンチ 10 09043-20100	70026	ドライブシャフト脱着用 (1JZ-GTE, 2JZ-GE 搭載車)
	ソケットヘキサゴンレンチ 12 09043-20120	70027	ディファレンシャルキャリア ASSY 脱着用

計 器

	XY-1	ダイヤルゲージレバー式測定子 (脚バンザイ扱い, 脚イヤサカ扱い)	コンパニオンフランジ振れ点検用
	トルクレンチ [0~3N・m {0~30kgf・cm}]	20114	プレロード測定用
	トルクレンチ [69~412N・m {700~4200kgf・cm}]	20121	ドライブピニオンナット締め付け用
	マイクロメーター (0~25mm)	20301	コニカルスプリング厚さ測定用

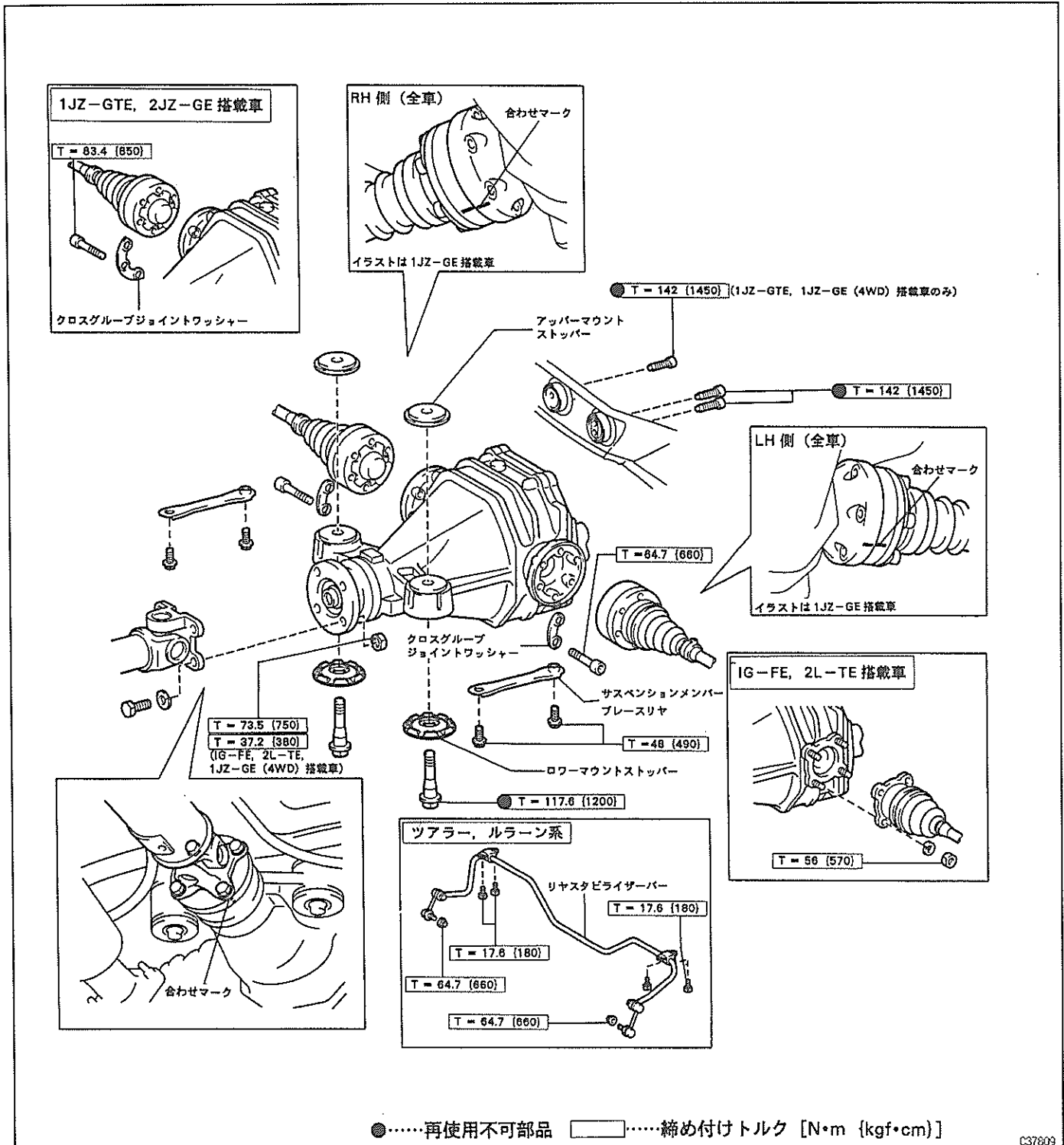
マイクロメーター (25~50mm)	20303	C寸法測定用 (2ピニオン LSD)
外パス	21901	サイドギヤシャフト打ち込み量点検
油脂・その他		
ワイヤブラシ	11701	シールパッキン清掃用
トヨタ純正 MP グリースNo.2	30204	オイルシールリップ部塗布用
トヨタ純正 ハイポイドギヤオイル SX	30709	ディファレンシャル (除く2ピニオン LSD) 注入用
トヨタ純正 ハイポイドギヤオイル LSD	30711	ディファレンシャル (2ピニオン LSD) 注入用
アドヘシブ 1324	50401	ディファレンシャルケースカバーボルト塗布用 (2ピニオン LSD)
シールパッキン 1281	50901	ディファレンシャルキャリアカバーおよびアクセスハウジングエンドガスケットへの塗布用
ヒーター	51901	リングギヤ加熱用
針金 (φ 2 mm)	52003	プロペラシャフトおよびドライブシャフト吊り下げ用
光明丹	52801	歯当たり点検用
鉄片	53606	ダストデフレクターおよびダストカバー圧入用

70048501

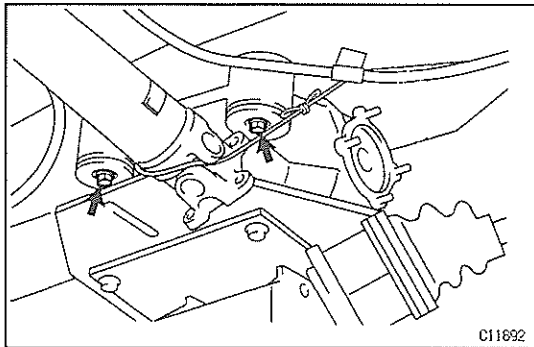
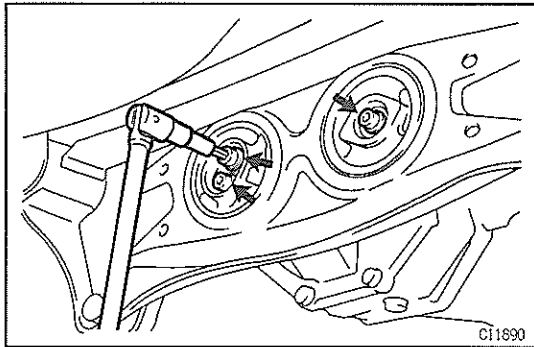
# リヤディファレンシャルキャリア ASSY

## 脱着構成図

- 注意**
- ・プロベラシャフトのジョイント部に無理な力が加わらないようにプロベラシャフトを吊り下げる。
  - ・ドライブシャフトのインボードジョイントエンドカバーおよびブーツを傷つけないように気をつける。
  - ・ポンチで合わせマークを付けない。



C37809



## リヤディファレンシャルキャリア ASSY

## 脱着作業上の留意点

## 1 ディファレンシャルキャリア ASSY 脱着

- (1) ディファレンシャルキャリア ASSY をトランスミッションジャッキで支持する。
  - 注意** ジャッキの受け面がコンパニオンフランジやサイドギヤシャフトに当たらないようにする。
- (2) ソケットヘキサゴンレンチ 12 を使用して、ディファレンシャルキャリア ASSY をリヤディファレンシャルマウントクッションから切り離す。
- (3) リヤディファレンシャルマウントローストッパーをはずし、ディファレンシャルキャリア ASSY を車両から取りはずす。
  - 注意** ディファレンシャルキャリア ASSY をドライブシャフトに干渉させない。





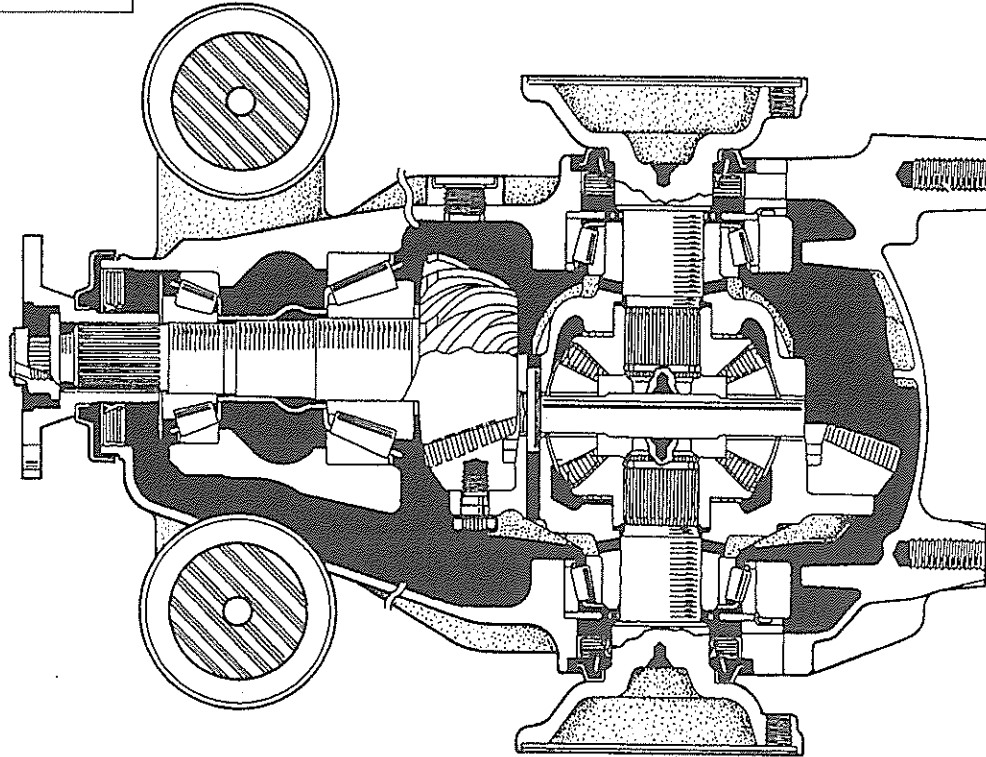




断面図

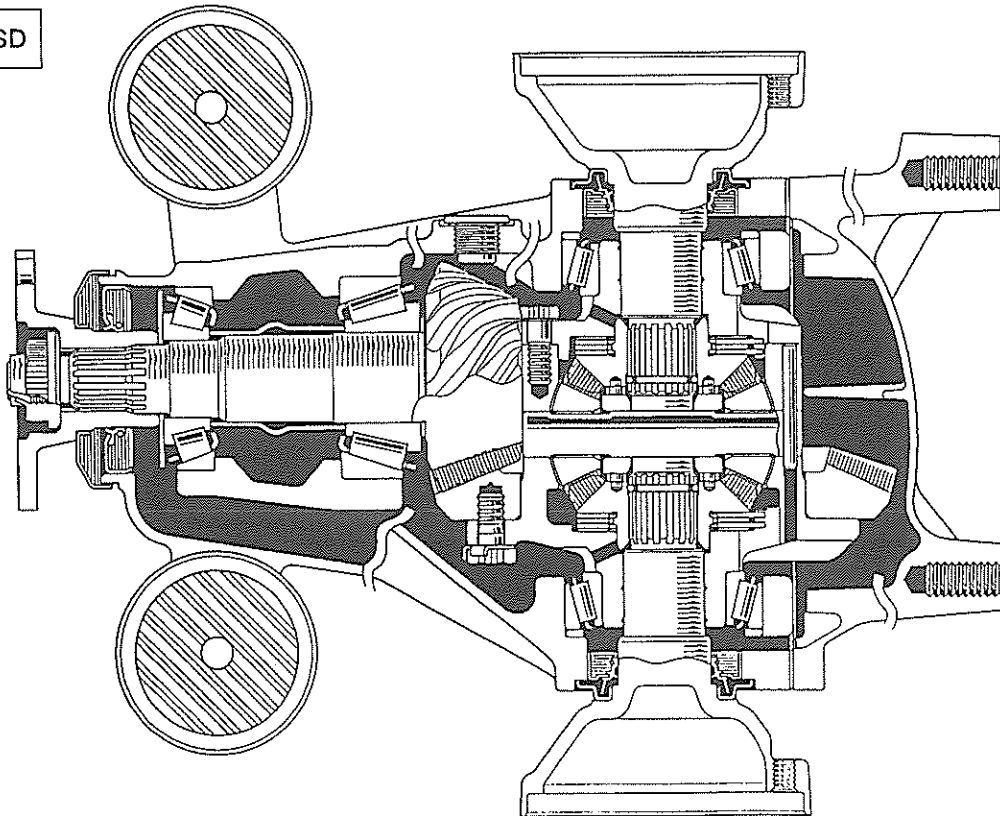
2 ピニオン (8 インチ)

(7.5 インチも内部構造は同じ)



XD0455

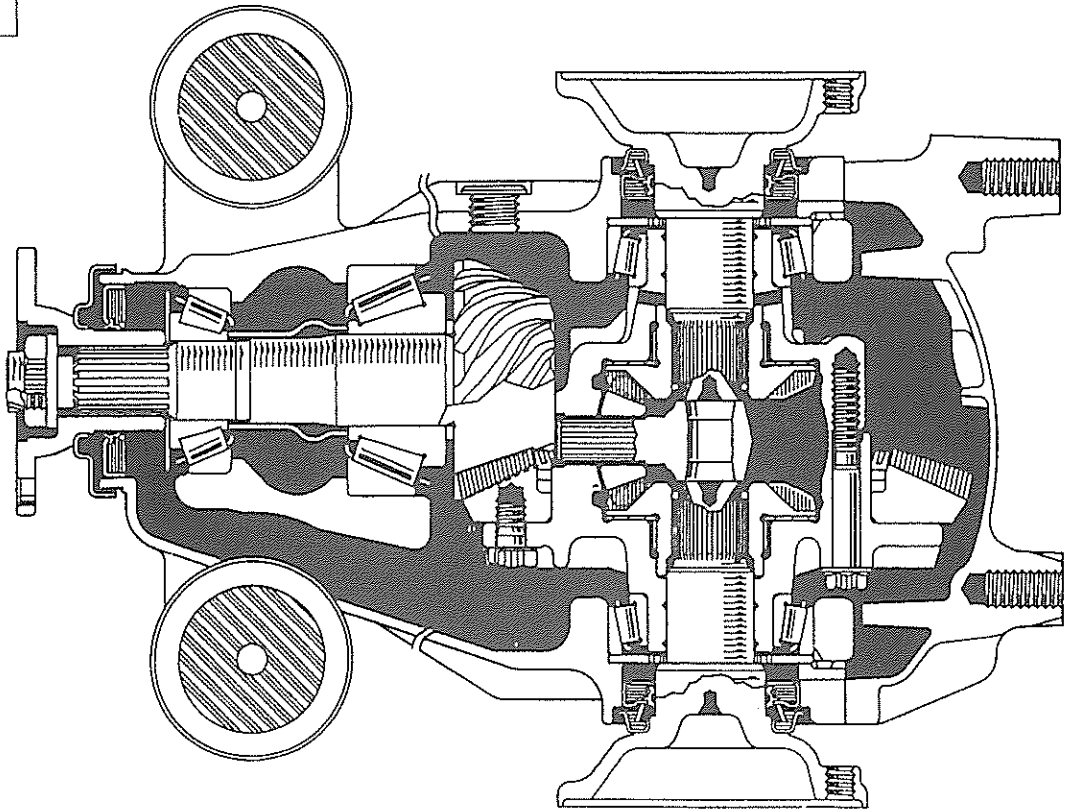
2 ピニオン LSD



C37810

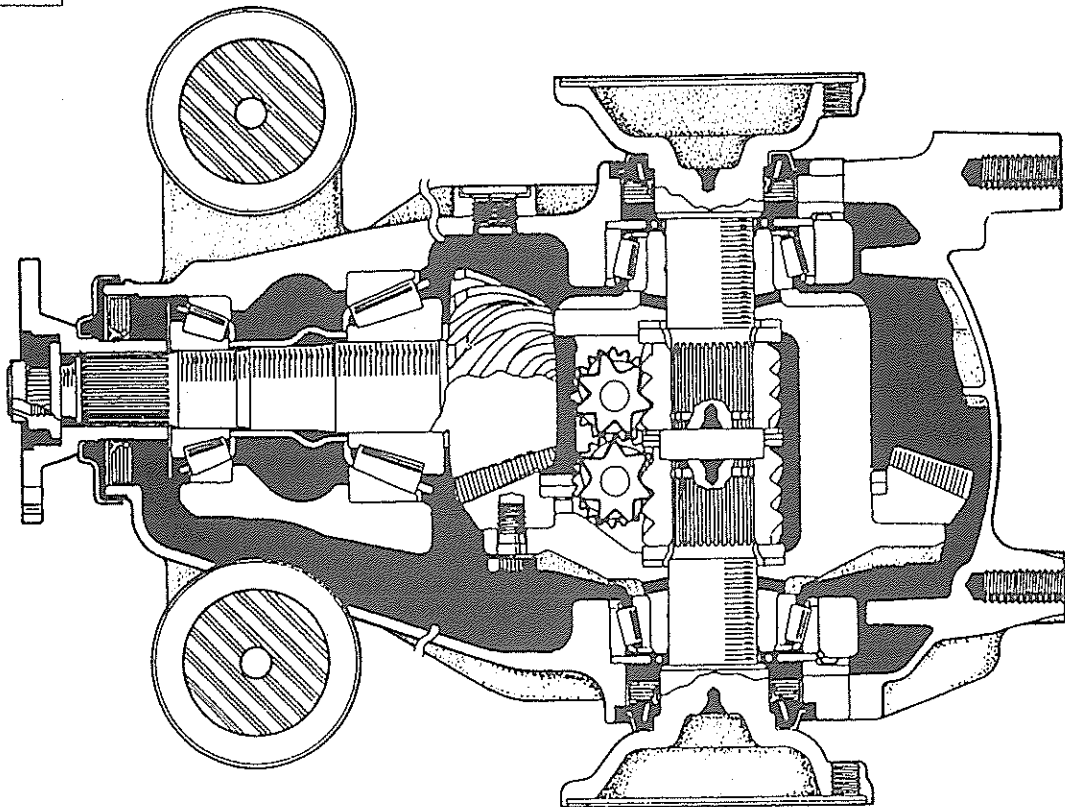
C39503

4 ピニオン



C10340

トルセン LSD



XD0458

C38604

リヤディファレンシャルキャリア ASSY 点検 (全車)

〈参考〉 4～10の点検は不具合のあるものを分解する場合必ず点検する。

- 1 ディファレンシャルオイル抜き取り
- 2 ディファレンシャルキャリアカバー取りはずし  
 〈参考〉 プラスパーを使用して、軽くたたき、キャリアカバーを取りはずす。

- 3 ディファレンシャルキャリア ASSY 固定  
 (1) ディファレンシャルキャリア ASSY をオーバーホールアタッチメントに固定する。

- 4 コンパニオンフランジ振れ点検  
 (1) ダイヤルゲージをコンパニオンフランジの内周面に直角に取り付け、コンパニオンフランジの縦振れを測定する。

限度 0.09mm

- (2) ダイヤルゲージをコンパニオンフランジ面に直角に、またボルト取り付け穴の外側に取り付け、コンパニオンフランジの横振れを測定する。

限度 0.09mm

- 5 リングギヤ振れ点検  
 (1) コンパニオンフランジを回して、リングギヤの背面の振れをダイヤルゲージで点検する。

限度 0.07mm

**注意** 限度値を超えるときは、ディファレンシャルケースの振れ点検を行う。

〔リヤディファレンシャル構成部品の点検および調整〕

—「ディファレンシャルケースの振れ点検」参照)

- 6 リングギヤのバックラッシュ点検  
 (1) ダイヤルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当ててドライブピニオンを固定し、リングギヤを動かして測定する。

基準値 0.13～0.18mm [除く 1JZ-GE (2WD) 搭載車]

0.10～0.15mm [1JZ-GE (2WD) 搭載車]

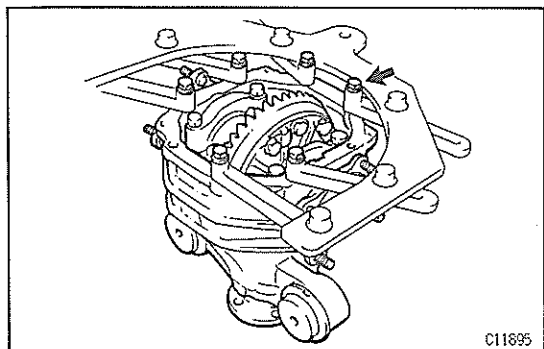
**注意** リングギヤ円周上の3箇所以上で測定する。

- 7 リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検  
 (リヤディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け)

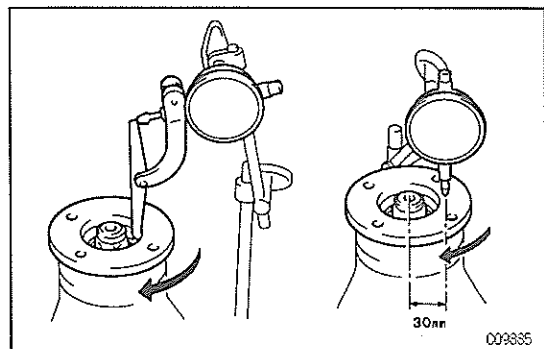
—「リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検」参照)

- 8 サイドギヤのバックラッシュ点検 (除くトルセン LSD)  
 (1) ダイヤルゲージをサイドギヤの歯面先端に直角に当て、ピニオンをディファレンシャルケースの方へ固定しバックラッシュを測定する。

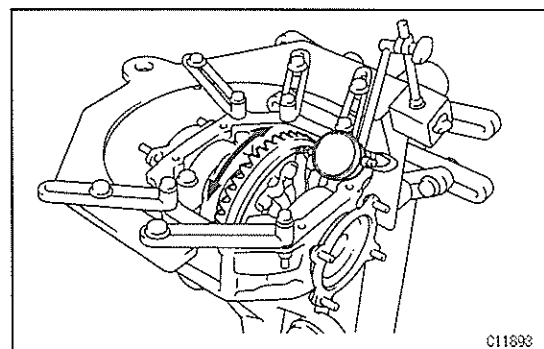
基準値 0.05～0.20mm



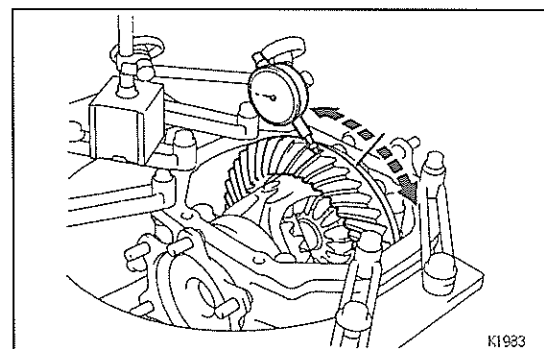
C11895



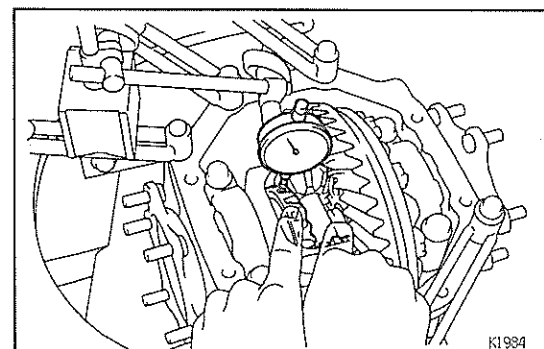
009835



C11898



K1983



K1984

## 9 ドライブピニオンブレード測定

- (1) トルクレンチを使用して、ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値 7.5インチ 0.59~0.98N・m {6~10kgf・cm}

8インチ 0.59~0.88N・m {6~9kgf・cm}

## 10 総合ブレード点検

- (1) トルクレンチを使用して、ドライブピニオンとリングギヤ歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値 総合ブレード=ドライブピニオンブレード

+0.39~0.59N・m {4~6kgf・cm}

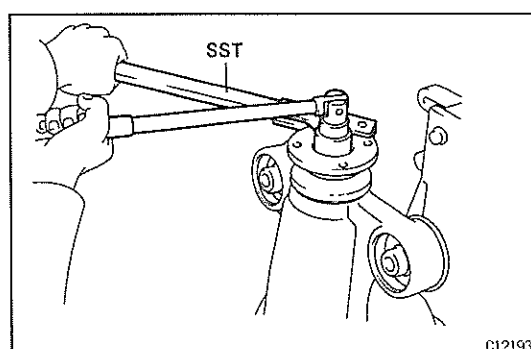
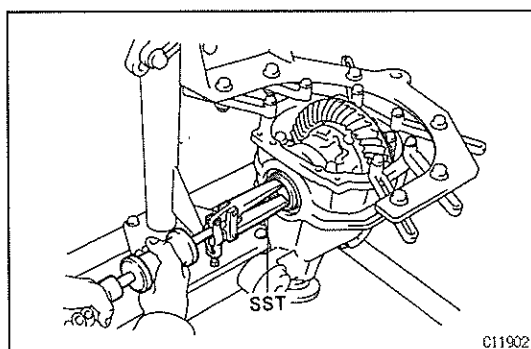
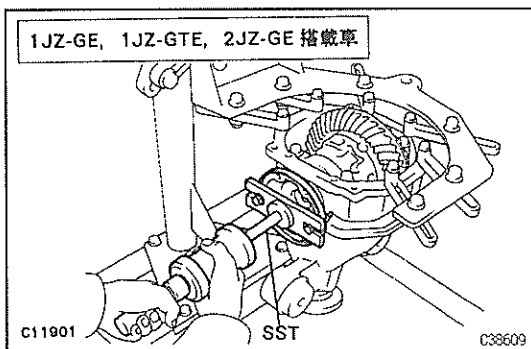
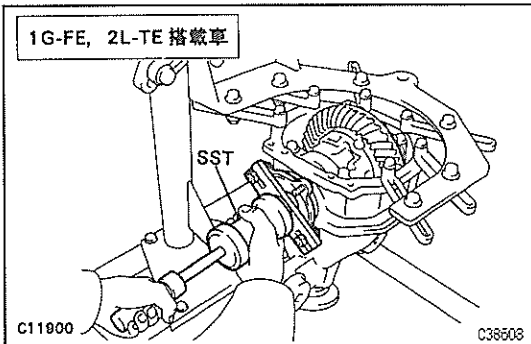
## リヤディファレンシャルキャリヤ ASSY 分解 (全車)

## 1 サイドギヤシャフト取りはずし

- (1) SSTをサイドギヤシャフトに固定して、ディファレンシャルキャリヤからサイドギヤシャフトを取りはずす。

S S T 09520-24010

- (2) ⊖ドライバーを使用して、シャフトからスナップリングを取りはずす。



## 2 サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし

- (1) SSTを使用して、オイルシール (RHおよびLH) を取りはずす。

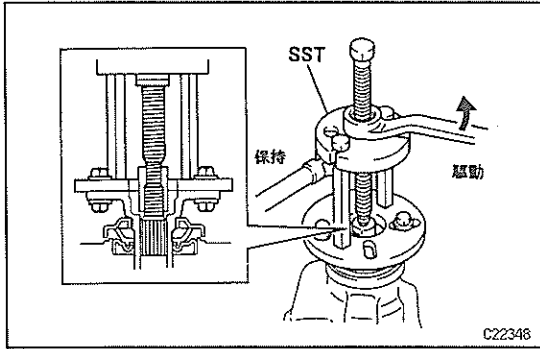
S S T 09308-00010

## 3 コンパニオンフランジ取りはずし

- (1) タガネを使用して、ナットのかしめを解く。

- (2) SSTを使用して、フランジを固定し、ナットを取りはずす。

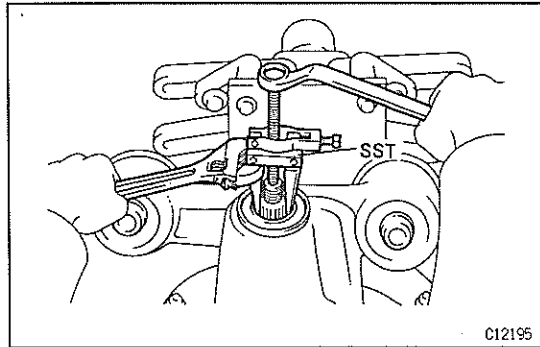
S S T 09330-00021



(3) SST を使用して、コンパニオンフランジを取りはずす。

S S T 09951-03010 09953-03010 09954-03010  
09955-03030 09956-03020(7.5 インチ)  
09956-03030(8 インチ)

**注意** SST のセンターボルト (09953-03010) のねじ部に油脂類を塗布して使用する。

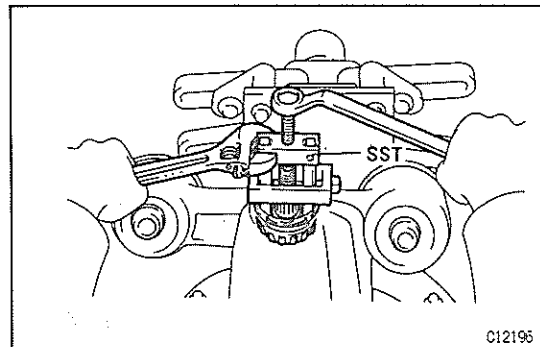


4 ドライブピニオンオイルシール取りはずし

(1) SST を使用して、オイルシールをディファレンシャルキャリアから取りはずす。

S S T 09308-10010

5 ドライブピニオンオイルスリンガー取りはずし

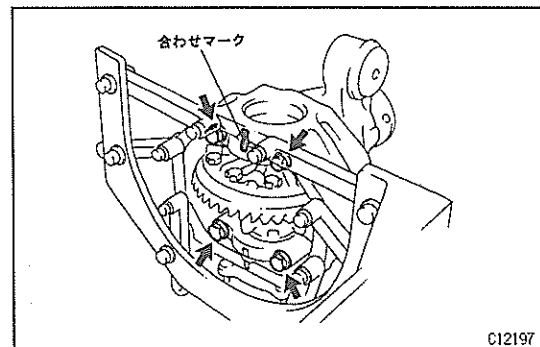


6 テーパーローラーベアリング (フロントベアリング) 取りはずし

(1) SST を使用して、テーパーローラーベアリングをディファレンシャルキャリアから取りはずす。

S S T 09556-22010

7 ベアリングスペーサー取りはずし



8 ディファレンシャルケース ASSY 取りはずし

(1) ベアリングキャップとディファレンシャルキャリアに合わせマークを付ける。

(2) ボルト 4 本を取りはずし、ベアリングキャップ 2 個を取りはずす。

**注意** ベアリングキャップとキャリアは一体で加工されているため組合せを変えない。

(3) SST を使用して、プレートワッシャー (バックラッシュ調整用) を取りはずす。

S S T 09504-22011

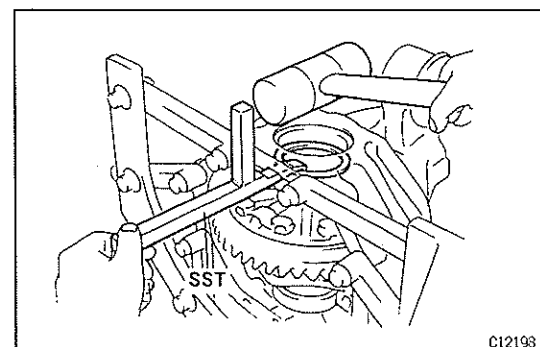
(4) ディファレンシャルケースをベアリングアウターレースとともに取りはずす。

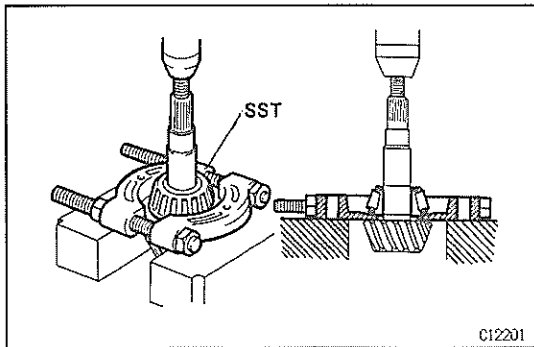
**注意** ・ベアリングおよびリングギヤディファレンシャルキャリアに干渉させない。

・ベアリングアウターレースに左右 (背面側、歯面側) の識別マークを付けるかまたは別々に整理する。

9 ドライブピニオン取りはずし

(1) ディファレンシャルキャリアからドライブピニオンを取りはずす。



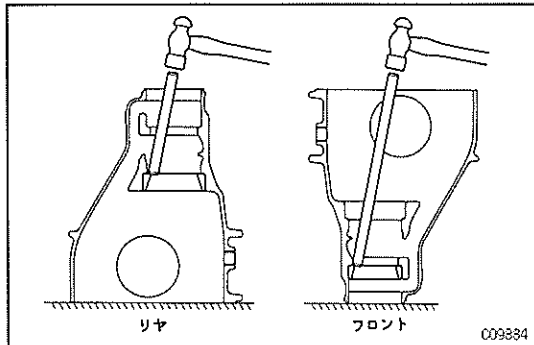


## 10 ドライブピニオンリヤベアリング取りはずし

- (1) SSTおよびプレスを使用して、ドライブピニオンからリヤベアリングを取りはずす。

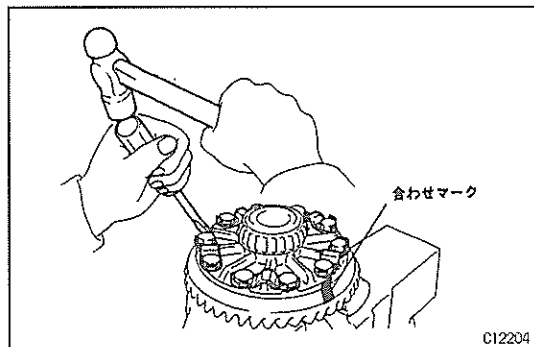
S S T 09950-00020

- (2) プレートワッシャーを取りはずす。



## 11 フロントおよびリヤドライブピニオンベアリングアウターレース取りはずし

- (1) プラスパーを使用して、ベアリングアウターレースを軽く均等にたたきながら打ち抜く。



## 12 リングギヤ取りはずし

- (1) ディファレンシャルケースとリングギヤに合わせマークを付ける。
- (2) ⊖ドライバーを使用して、ロックプレートのかしめを解く。
- (3) ボルト 10 本およびロックプレート 5 枚を取りはずす。
- (4) プラスチックハンマーを使用して、リングギヤ外周を軽くたたいて取りはずす。

## リヤディファレンシャル構成部品の点検および調整

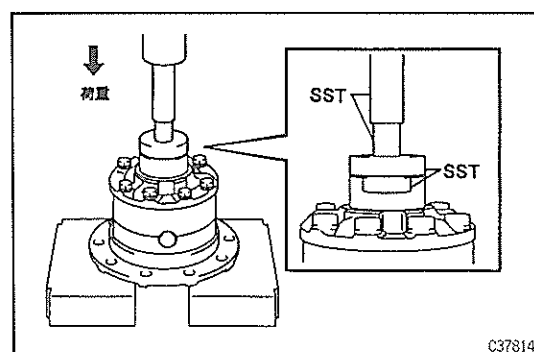
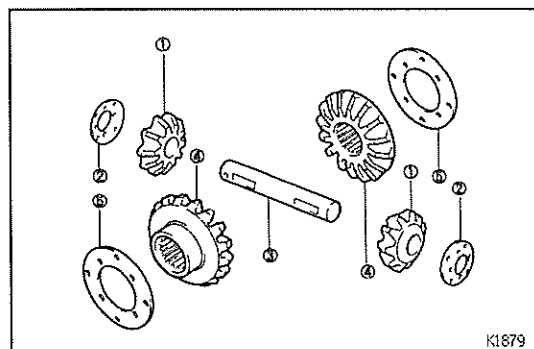
## 1 ディファレンシャルケース分解 (タイプ別)

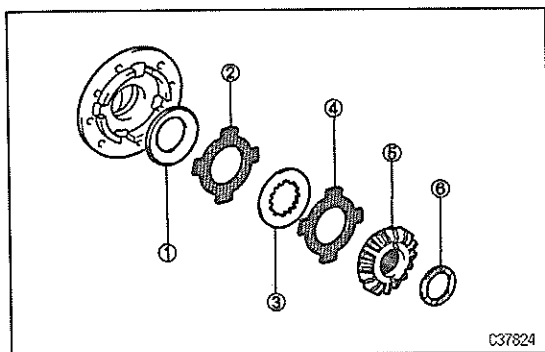
## 2 ピニオン

- (1) ピンポンチを使用して、ストレートピンを打ち抜く。
- (2) ディファレンシャルケースから次の部品を取りはずす。
- ① ディファレンシャルピニオン 2 個
  - ② ピニオンスラストワッシャー 2 枚
  - ③ ディファレンシャルピニオンシャフト
  - ④ ディファレンシャルサイドギヤ 2 個
  - ⑤ サイドギヤスラストワッシャー 2 枚

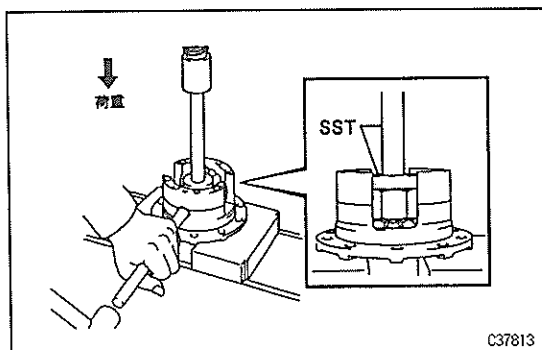
## 2 ピニオン LSD

- (1) ディファレンシャルケースとディファレンシャルケースカバーに合わせマークを付ける。
- (2) SST およびプレスを使用して、ディファレンシャルケースカバー側から 1180N {120kgf} の荷重を加える。
- S S T 09951-00330 09951-00500 09951-07100  
09952-06010
- (3) ボルト 8 本を取りはずす。

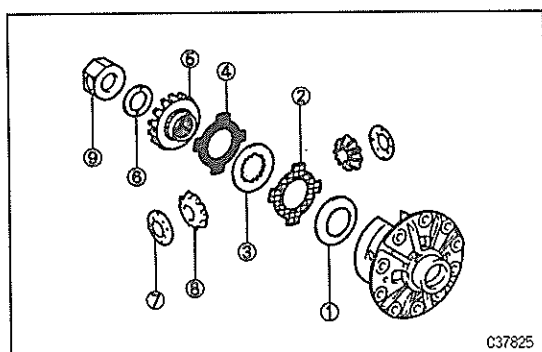




- (4) ディファレンシャルケースから次の部品を取りはずす。
- ① コニカルスプリングワッシャー RH
  - ② サイドギヤスラストワッシャーNo.2 RH
  - ③ クラッチプレート RH
  - ④ サイドギヤスラストワッシャーNo.1 RH
  - ⑤ ディファレンシャルサイドギヤ RH
  - ⑥ クラッチメンバースラストワッシャー RH
- (5) ピンポンチを使用して、ピニオンシャフトロックピンを取りはずす。

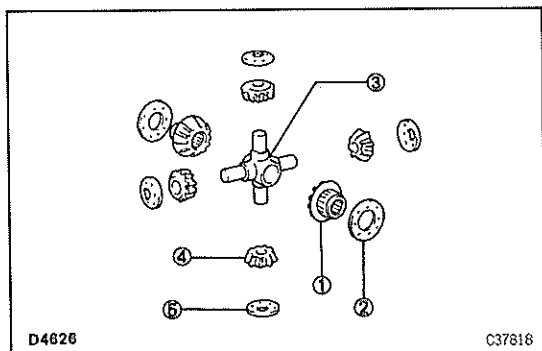


- (6) SST およびプレスを使用して、ピニオンシャフトフォルダに 1180N {120kgf} の荷重を加える。  
S S T 09951-00500 09951-07100
- (7) プラスパーおよびハンマーを使用して、ディファレンシャルケースからピニオンシャフトを取りはずす。




- (8) ディファレンシャルケースから次の部品を取りはずす。
- ① コニカルスプリングワッシャー LH
  - ② サイドギヤスラストワッシャーNo.2 LH
  - ③ クラッチプレート LH
  - ④ サイドギヤスラストワッシャーNo.1 LH
  - ⑤ ディファレンシャルサイドギヤ LH
  - ⑥ クラッチメンバースラストワッシャー LH
  - ⑦ ピニオンワッシャー 2枚
  - ⑧ ピニオンギヤ 2個
  - ⑨ ピニオンシャフトフォルダ

#### 4 ピニオン

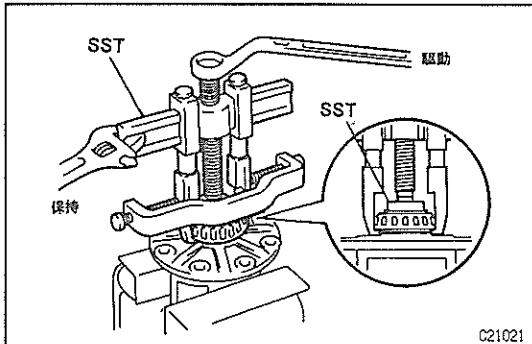


- (1) ディファレンシャルケース RH およびディファレンシャルケース LH に合わせマークを付ける。
- (2) ボルト 8本を取りはずす。
- (3) ディファレンシャルケースの RH 側と LH 側をプラスチックハンマーなどを使用して、かん合をはずす。
- (4) ディファレンシャルケースから次の部品を取りはずす。
  - ① ディファレンシャルサイドギヤ 2個
  - ② サイドギヤスラストワッシャー 2枚
  - ③ ディファレンシャルスパイダー
  - ④ ディファレンシャルピニオン 4個
  - ⑤ ピニオンスラストワッシャー 4枚

#### トルセン LSD

 ディファレンシャルケースは非分解である。

- 2 サイドギヤおよびピニオンギヤの摩耗点検  
(除くトルセン LSD)
- 3 ディファレンシャルケースの亀裂, 損傷の有無点検  
(以下全車)
- 4 ディファレンシャルケースの振れ点検  
(参考) リングギヤ振れ点検で限度を超えた場合のみ行なう。
  - (1) ディファレンシャルケースをディファレンシャルキャリアに組み付け, ベアリングキャップを組み付ける。  
(「リヤディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」  
- 「サイドベアリングプレロード調整」参照)
  - (2) ディファレンシャルケースの振れを点検する。  
限度 0.07mm
  - (3) ディファレンシャルケースを取りはずす。  
(「リヤディファレンシャルキャリア ASSY 分解」  
- 「ディファレンシャルケース ASSY 取りはずし」参照)



- 5 テーパーローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし
  - (1) ディファレンシャルケースの切り欠き部よりベアリングのインナーレースに SST のツメをかける。
  - (2) SST を使用して, ディファレンシャルケースからテーパーローラーベアリング 2 個を取りはずす。
 

S S T	09951-04020	09952-04010	09953-04030
	09954-04010	09955-04060	09957-04010
	09958-04010		

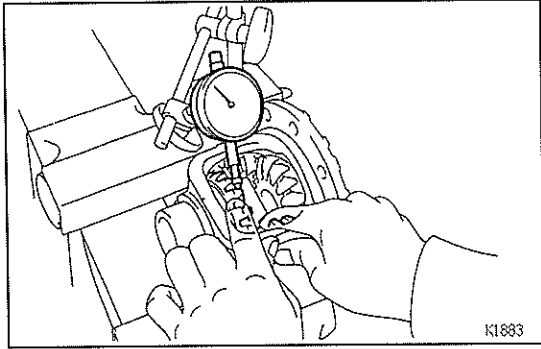
    - SST のセンターボルト (09953-04030) のねじ部, および先端部に油脂類を塗布して使用する。
    - ベアリングのケージを変形させない。
 (参考) テーパーローラーベアリング (サイドベアリング) 交換時以外は, 取りはずさない。

## リヤディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け T0048892

### 1 ディファレンシャルケース組み付け (タイプ別)

#### 2 ピニオン

- スラストワッシャー, サイドギヤ, ピニオンなどの組み付け時には, ゴミ, 切り粉などの付着がないことを確認する。
  - 各摺動部, 回転部にハイポイドギヤオイル SX を十分に塗布する。
- (1) サイドギヤにスラストワッシャーを組み付ける。
  - (2) サイドギヤ (ワッシャー付き), ピニオンギヤ, ピニオンシャフトおよびピニオンスラストワッシャーを組み付ける。
    - ピニオンシャフトの固定用穴とケースの穴を合わせる。



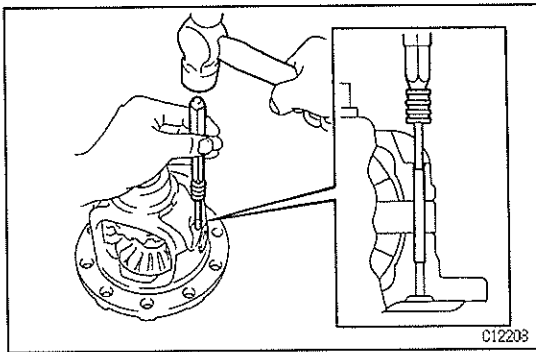
- (3) サイドギヤのバックラッシュが基準値内になり、かつスムーズに回るよう左右両側とも同じサイズのスラストワッシャーを次項より選択し調整する。  
 ピニオンをディファレンシャルケースの方へ固定し、バックラッシュを点検する。  
 基準値 0.05～0.20mm

7.5 インチ	
品番	厚さ (mm)
41361 - 30040	0.96 ~ 1.04
41361 - 30050	1.06 ~ 1.14
41361 - 30060	1.16 ~ 1.24
41361 - 30070	1.26 ~ 1.34

〈参考〉 スラストワッシャーの種類

8 インチ	
品番	厚さ (mm)
41361 - 40021	1.58 ~ 1.62
41362 - 40021	1.68 ~ 1.72
41363 - 40021	1.78 ~ 1.82

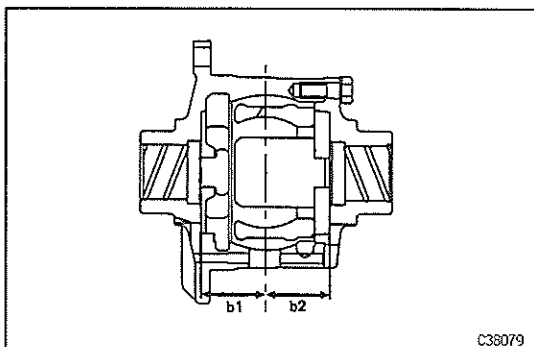
JA2483



- (4) ピンポンチおよびハンマーを使用して、ストレートピンをリングギヤの歯面側から打ち込む。  
 (5) タガネおよびハンマーを使用して、ディファレンシャルケースのピン穴外周をかしめる。

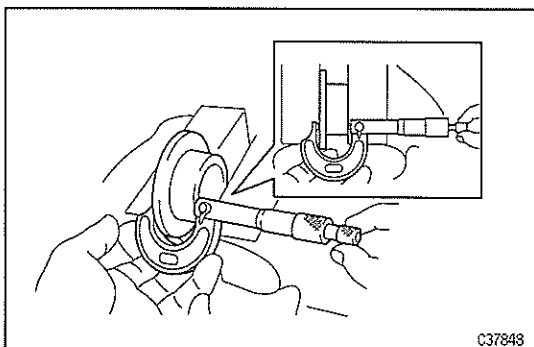
2 ピニオン LSD

- ・分解した各部品は洗浄し、亀裂、各勤合部の摩耗、損傷、変形および焼き付きなどの不都合がある場合は、修正または交換する。
- ・ピニオンシャフトフォルダ、ディファレンシャルサイドギヤまたはクラッチプレート交換の場合は、それと接触するスラストワッシャーは新品と交換する。
- ・マイクロメーターを使用して各寸法を測定する際、3回測定し、そのうち1回でも他と著しく異なる数値が測定された時は、再度測定し直す。
- ・ディファレンシャルケース、ケースカバーおよびボルトを白ガソリンなどを使用して洗浄し、エアを吹きかけ乾燥させる。
- ・組み付け前に摺動面、回転部にハイポイドギヤオイルLSDを塗布する。
- ・構成部品を未交換で組み付ける場合は、サイドギヤ、サイドギヤスラストワッシャー、クラッチプレートおよびコニカルスプリングは分解時に組み込まれていた状態のまま組み付け、位置および方向を変えないこと。



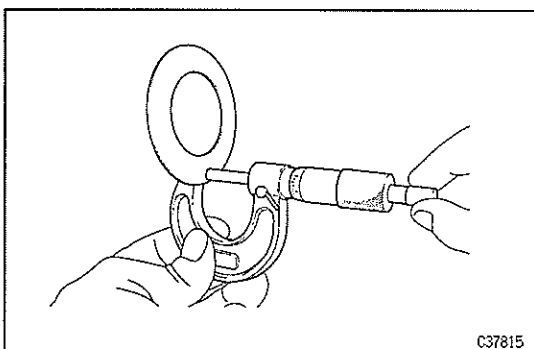
- (1) b1,b2 寸法は表のように分類され、それぞれディファレンシャルケースおよびディファレンシャルケースカバーの合わせマークを兼ねて A~F の記号がテーキン打刻されている。

分類テーキン	b1,b2 寸法 (mm)
A	38.05~38.07
B	38.08~38.10
C	38.11~38.13
D	38.14~38.16
E	38.17~38.19
F	38.20



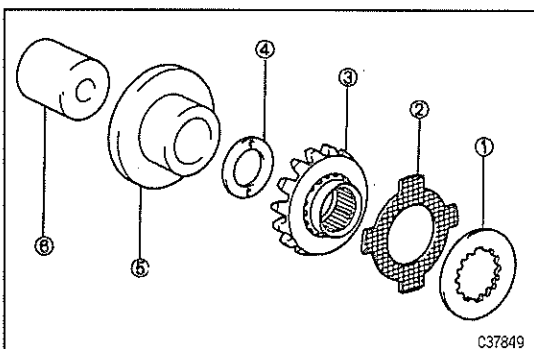
- (2) マイクロメーターを使用して、SST の寸法を 3 回測定し、その平均値を S とする。

S S T 09316-00031



- (3) マイクロメーターを使用して、コニカルスプリングの外周を 3 回測定し、その平均値を T とする。

11

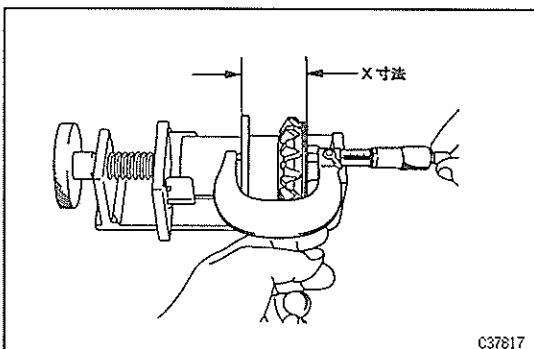


- (4) SST を使用して、次の部品を組み合わせる。

- ① クラッチプレート
- ② サイドギヤラストワッシャー No.1
- ③ ディファレンシャルサイドギヤ
- ④ クラッチメンバスラストワッシャー
- ⑤ SST 09316-00031
- ⑥ SST 09710-01031

S S T 09316-00031 09411-22012 09710-01031

- ④ クラッチメンバスラストワッシャーの油溝の無い面がディファレンシャルサイドギヤに当たるように組み付ける。



- (5) SST のナットをゆるめスプリングで保持させる。  
 (6) 測定部品 (①~⑥) を十分センターリングさせマイクロメーターを使用して 3 回測定し、その平均値を X とする。

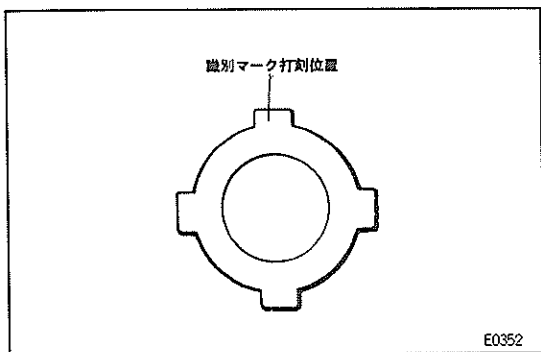
- ⑤ RH 側および LH 側を測定する。

- (7) 下記のようにして a 寸法を求める。

$$a \text{ 寸法 (mm)} = X - S + T + 2.5(\text{mm})$$

- ⑤ RH 側および LH 側を測定する。

(8) b1 寸法と a 寸法 (LH 側) および b2 寸法と a 寸法 (RH 側) の組み合わせから、選択表によってサイドギヤスラストワッシャー No.2 を選択する。



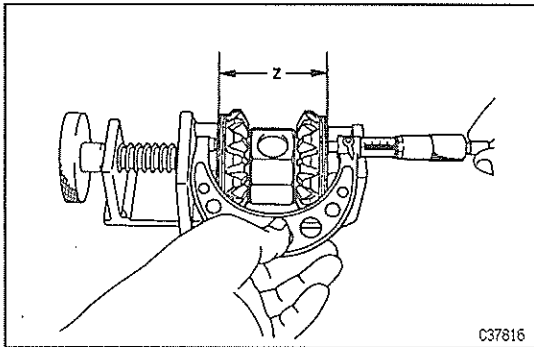
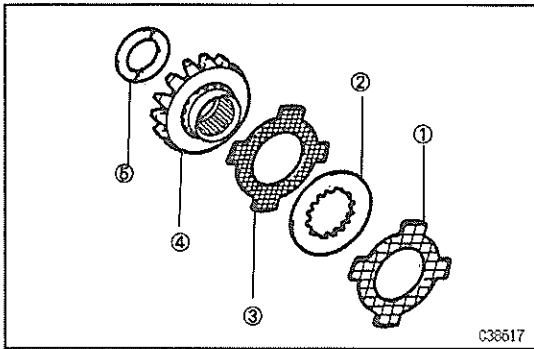
品番	識別マーク	板厚 (mm)
41361-30120	A	1.77~1.83
41361-30130	B	1.83~1.89
41361-30140	C	1.89~1.95
41361-30150	D	1.95~2.01
41361-30160	E	2.01~2.07
41361-30170	F	2.07~2.13
41361-30180	G	2.13~2.19
41361-30190	H	2.19~2.25
41361-30200	J	2.25~2.31

・サイドギヤスラストワッシャー No.2 選択表 [mm]

テーキンNo	A	B	C	D	E	F
b1 および b2 寸法						
a 寸法	38.05 ~ 38.07	38.08 ~ 38.10	38.11 ~ 38.13	38.14 ~ 38.16	38.17 ~ 38.19	38.20
23.25 ~ 23.26						Ⓧ
23.27 ~ 23.29					Ⓧ	
23.30 ~ 23.32					Ⓧ	
23.33 ~ 23.35					Ⓧ	
23.36 ~ 23.38				Ⓧ		
23.39 ~ 23.41				Ⓧ		
23.42 ~ 23.44				Ⓧ		
23.45 ~ 23.47			Ⓧ			
23.48 ~ 23.50			Ⓧ			
23.51 ~ 23.53			Ⓧ			
23.54 ~ 23.56		Ⓧ				
23.57 ~ 23.59		Ⓧ				
23.60 ~ 23.62	Ⓧ					
23.63 ~ 23.64	Ⓧ					

注: ○内の英字がサイドギヤスラストワッシャー No.2 の識別マークを示す

JB3277



(9) 次の部品を組み合わせる。

- ① 選択したサイドギヤスラストワッシャーNo.2
- ② クラッチプレート
- ③ サイドギヤスラストワッシャーNo.1
- ④ ディファレンシャルサイドギヤ
- ⑤ クラッチメンバスラストワッシャー

**注意** ・選択した各サイドギヤスラストワッシャーNo.2 は、油溝ピッチの小さい面がクラッチプレートに当たるように組み付ける。

・RH 側および LH 側を組み合わせる。

(10) SST を使用して、(9)で組み付けた各部品とピニオンシャフトフォルダを保持する。

S S T 09411-22012

(11) 測定部品を十分センターリングさせた後、マイクロメーターを使用して、3回測定し、その平均値を Z とする。

(12) 下記のようにして C 寸法を求める。

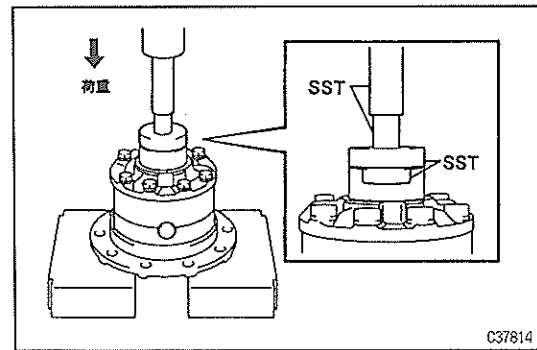
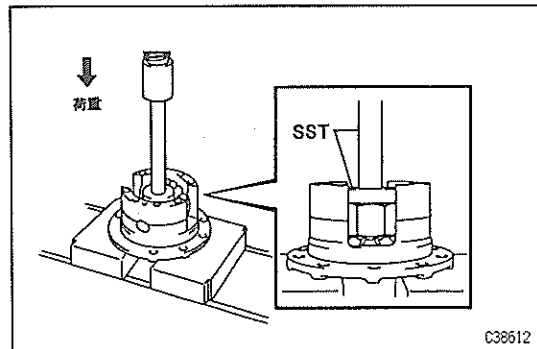
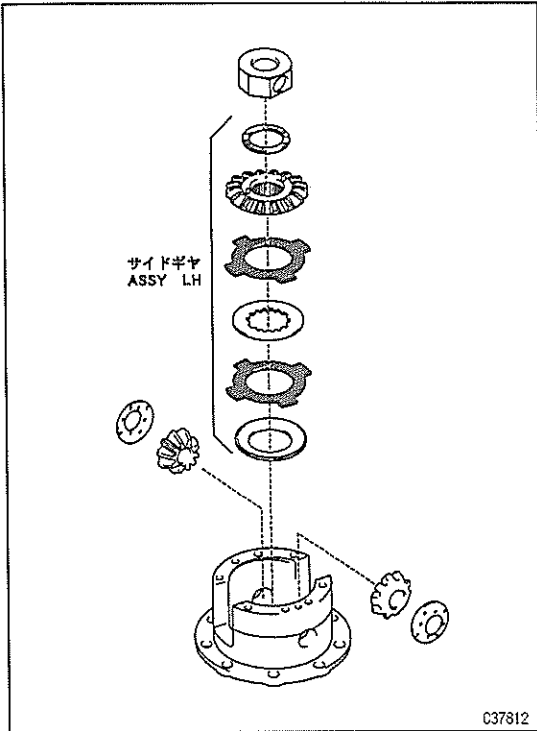
基準値 C 寸法 (mm) = Z + T (RH 側) + T (LH 側) (mm)

(13) ディファレンシャルケースおよびディファレンシャルケースカバーのテーキン打刻記号の組み合わせをもとに下表より b1 + b2 を求め、上記 C 寸法との関係が基準値に合うか確認する。

基準値 b1 + b2 (mm) ≥ C (mm)

**注意** C 寸法が大きい場合は、サイドギヤスラストワッシャーNo.2 の板厚をサイドギヤスラストワッシャーNo.2 選択表によって、RH 側、LH 側共に再選択し、再度 C 寸法を測定し、判定を行う。

デフケース、デフケースカバー テーキン組み合わせ	b1 + b2(mm)
A + A	76.10
A + B	76.13
A + C	76.16
A + D	76.19
A + E	76.22
A + F	76.25
B + B	76.16
B + C	76.19
B + D	76.22
B + E	76.25
B + F	76.28
C + C	76.22
C + D	76.25
C + E	76.28
C + F	76.31
D + D	76.28
D + E	76.31
D + F	76.34
E + E	76.34
E + F	76.37
F + F	76.40



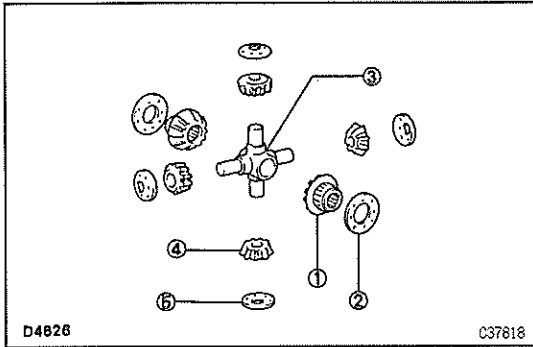
- (14) サイドギヤ ASSY LH をディファレンシャルケースに組み付ける。  
**注意** コニカルスプリングワッシャーの凸面をディファレンシャルケース側にする。
- (15) ピニオンギヤ 2 個およびピニオンワッシャー 2 枚をピニオンシャフト穴に合わせて組み付ける。
- (16) ピニオンシャフトフォルダをピニオンシャフト組み付け穴とピニオンギヤ内径が合う方向に組み付ける。

- (17) 各部品を十分センターリングした後、SST およびプレスを使用して、ピニオンシャフトフォルダに 1180N {120kgf} の荷重をかける。
- (18) ピニオンシャフトを挿入する。  
**注意** ピニオンシャフトストップピン用穴とディファレンシャルケースのストップピン穴を合わせる。
- (19) ピニオンシャフトロックピンを挿入する。
- (20) ピニオンシャフトフォルダにかけている荷重を解放する。
- (21) ディファレンシャルケースカバーにサイドギヤ ASSY RH を組み付ける。

- 注意** サイドギヤとピニオンギヤを正しく噛み合わせる。
- (22) ディファレンシャルケースカバーにサイドギヤ ASSY RH を組み付けた状態で、ディファレンシャルケースに取り付ける。  
**注意** クラッチメンバラストワッシャーが固定用ピンからはずれないようにする。
- (23) SST およびプレスを使用して、ディファレンシャルケースとディファレンシャルケースカバーが密着するように荷重をかけ、ボルト 8 本を締め付ける。

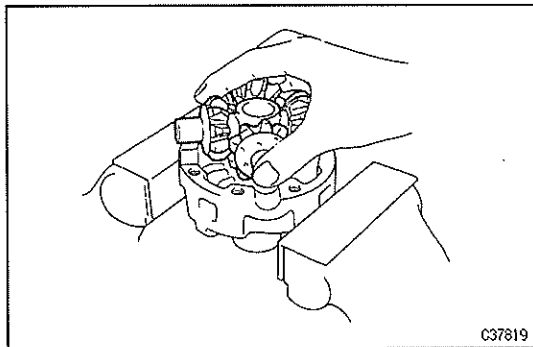
S S T    09951-00330    09951-00500    09951-07100  
 09952-06010

- 注意**
  - ・ボルト締め付け終了まで、プレスの荷重を解放しない。
  - ・組み付け時、ボルトねじ部にアドヘシブ 1324 を塗布する。
  - ・サイドギヤラストワッシャーがディファレンシャルケースに食い込まないこと。
- (24) ボルト締め付け後、3 時間以上放置する。  
**注意** 環境温度が 15°C 以下の場合は 30~50°C に加熱後、放置する。
- (25) スナップリングを取り外した状態のサイドギヤシャフトを使用して、片側のサイドギヤを固定し、反対側のサイドギヤがスムーズに回ることを点検する。

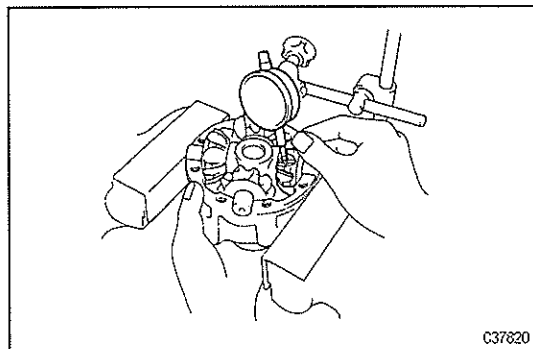


## 4 ピニオン

- (1) サイドギヤにスラストワッシャーを組み付ける。
- (2) スパイダーにピニオン 4 個およびスラストワッシャー 4 枚を組み付ける。



- (3) スパイダー ASSY をディファレンシャルケース RH に組み付ける。



- (4) サイドギヤを固定して、ディファレンシャルケース RH 側のサイドギヤバックラッシュをピニオン側で点検する。

基準値 0.05~0.20mm

**※注意** ピニオンはディファレンシャルケースに押しつけて点検する。

- (5) ディファレンシャルケース LH 側にサイドギヤ、ピニオンおよびスパイダーを組み付け、(4)の作業を行う。
- (6) 基準値外の場合は、左右両側ともスラストワッシャーを表より選択し、バックラッシュを基準値内にする。

〈参考〉 スラストワッシャーの種類

品番	板厚 (mm)
41361-24010	0.88~0.92
41361-24020	0.98~1.02
41361-24030	1.08~1.12
41361-24040	1.18~1.22
41361-24050	1.28~1.32

- (7) ディファレンシャルケースライト側の合わせマークをレフト側の合わせマークに合わせ、ディファレンシャルピニオンとサイドギヤの歯が噛み合うように組み付ける。
- (8) プラスチックハンマーを使用して、ディファレンシャルケースを軽くたたいて、かん合させる。
- (9) ボルト 8 本を規定トルク締め付ける。

**※注意** ボルトは対角線に相対する順に、数回に分けて締め付ける。

トルセン LSD

**注意** ディファレンシャルケースは非分解のため組み付けの必要なし。

2 リングギヤ組み付け (以下全車)

(1) リングギヤを熱湯などで 100℃に加熱する。

**注意** リングギヤは 100℃以上に加熱させない。

(2) リングギヤとディファレンシャルケースの合わせ面の油脂、水分を十分清掃する

(3) ディファレンシャルケースとリングギヤの合わせマークを合わせて、リングギヤを素早く組み付ける。

**注意** ディファレンシャルケースのボルト穴とリングギヤのねじ穴を合わせる。

(4) 新品のロックプレート 5 枚を介して、セットボルト 10 本を規定トルクで締め付ける。

**注意** ボルトは、対角線に相対する順に行い、数回に分けて締め付ける。

(5) タガネを使用して、ロックプレートのツメを起こし回り止めをする。

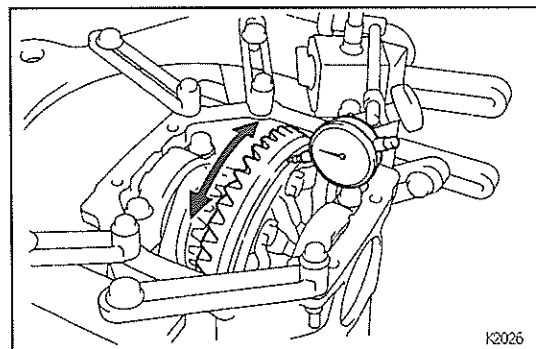
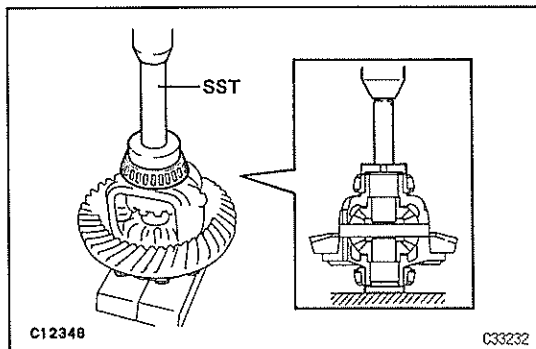
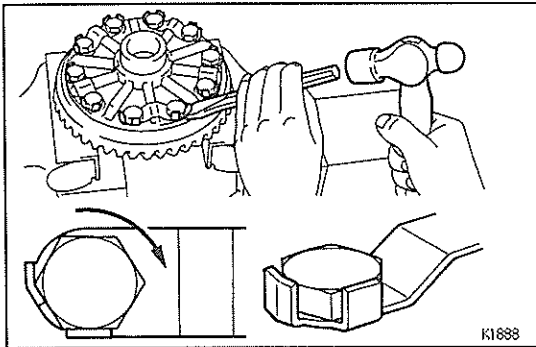
**注意** ボルトの 2 面幅に接触するツメは、2 面幅部と密着するまで折り曲げる。またボルトの山部と接触してツメ部が 2 分割になる場合は、ボルトの締め側を密着させる。

3 テーパーローラーベアリング (サイドベアリング) 組み付け

(1) SST およびプレスを使用して、ディファレンシャルケースにテーパーローラーベアリングを圧入する。

S S T 09252-10010 09557-10010 09558-10010  
09316-00010(8 インチ)

**注意** ・SST をディファレンシャルケースの中心に合わせる。  
・ベアリング交換時は、ベアリングアウターレースも交換する。



4 リングギヤ振れ点検

(1) ディファレンシャルケースをキャリアに取り付け、ベアリングにガタがない程度にプレートワッシャーを取り付ける。

(「リヤディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」  
- 「リングギヤバックラッシュ調整」参照)

**注意** 左右のベアリングアウターレースを間違えないように組み付ける。

(2) ベアリングキャップを組み付ける。

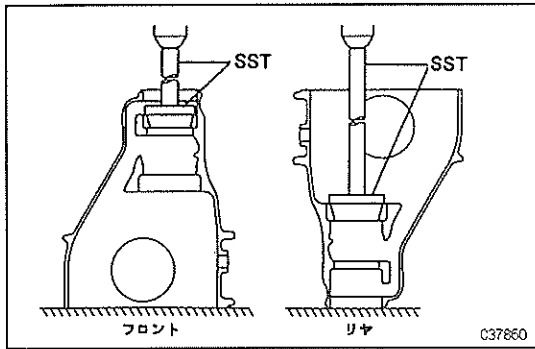
(「リヤディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」  
- 「サイドベアリングプレロード調整」参照)

(3) リングギヤの背面の振れをダイヤルゲージで点検する。

限度 0.07mm

(4) ディファレンシャルケースを取りはずす。

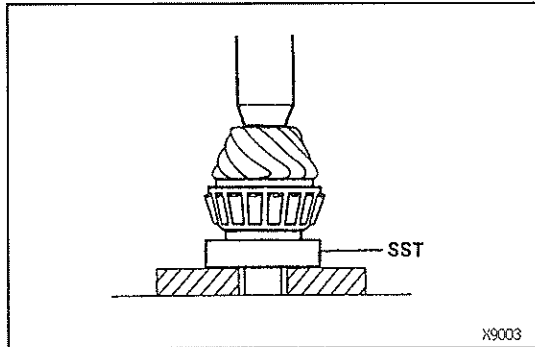
(「リヤディファレンシャルキャリア ASSY 分解」  
- 「ディファレンシャルキャリア ASSY 取りはずし」参照)



### 5 フロントおよびリヤドライブピニオンベアリングアウターレース組み付け

- (1) SST およびプレスを使用して、ベアリングアウターレースを圧入する。

S S T	09951-00720	09951-07200	フロント
	09951-00790	09951-07200	リヤ 7.5 インチ
	09951-00890	09951-07200	リヤ 8 インチ

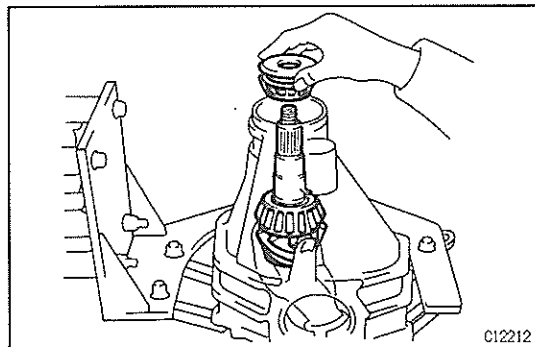


### 6 テーパーローラーインナーベアリング (リヤベアリング) 組み付け

- (1) ドライブピニオンにプレートワッシャーを組み付ける。  
(参考) ワッシャーは取りはずし前と同じ厚さのものを組み付けておく。

- (2) SST およびプレスを使用して、ドライブピニオンにテーパーローラーインナーベアリングを圧入する。

S S T 09506-30012



### 7 ドライブピニオンプレロード仮調整

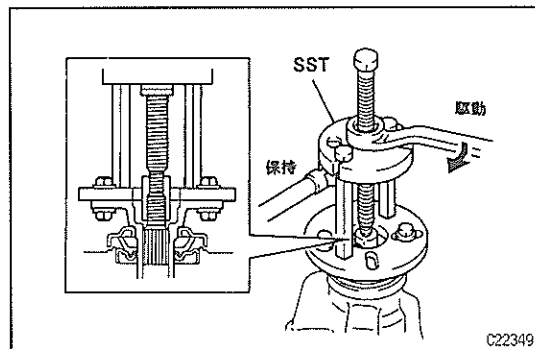
- (1) ディファレンシャルキャリヤにドライブピニオン、テーパーローラーインナーベアリング (フロントベアリング) およびドライブピニオンオイルスリンガーを組み付ける。

**注意** リングギヤの歯当り点検のため、スペーサーおよびオイルシールは組み付けず、歯当り点検、調整後に組み付ける。

- (2) SST を使用して、コンパニオンフランジを取り付ける。

S S T	09951-03010	09953-03010	09954-03010
	09955-03030	09956-03020(7.5 インチ)	
	09956-03030	(8 インチ)	

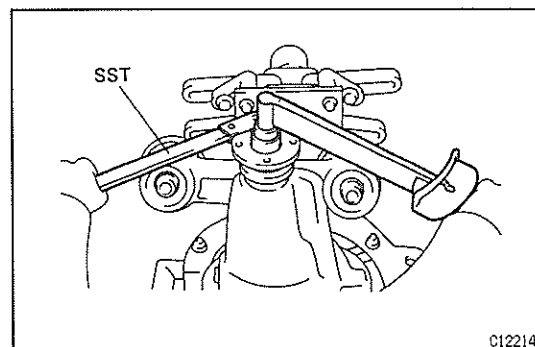
**注意** ・スペーサーを組み付けていないので、コンパニオンフランジはドライブピニオンのガタが少し残る程度まで締め付ける。  
・SST のセンターボルト (09953-06010) のねじ部および先端部に油脂類を塗布する。



- (3) SST を使用して、プレートワッシャーを介して、新品のナットを規定のプレロードになるように少しずつ締め付ける。

S S T 09330-00021

**注意** ・ナットとドライブピニオンのねじ部にハイポイドギヤオイル LSD を塗布する。  
・スペーサーが入っていないので、ナットは少しずつ締め付け、絶対に締め過ぎない。



- (4) ドライブビニオンの起動トルクを測定する。

基準値

	7.5 インチ	8 インチ
ベアリング新品時	1.08~1.76N・m {11~18kgf・cm}	0.98~1.57N・m {10~16kgf・cm}
ベアリング再使用时	0.49~0.88N・m {5~9kgf・cm}	0.49~0.78N・m {5~8kgf・cm}

**注意** ・ベアリングをなじませるため、正転、逆転を数回行った後測定する。

・総合プレロード測定のため、プレロードを記憶しておく。

8 ディファレンシャルケース組み付け

- (1) テーパードロローラーベアリングの左右のベアリングアウターレースを間違えないように組み付ける。
- (2) ディファレンシャルケースをキャリアに組み付ける。

9 リングギヤバックラッシュ調整

- (1) リングギヤ背面側にリングギヤのバックラッシュがほぼ基準値内に入るようなプレートワッシャーを次項のプレートワッシャー一覧表より選択して取り付ける。

基準値 0.13~0.18mm [除く 1JZ-GE (2WD) 搭載車]  
0.10~0.15mm [1JZ-GE (2WD) 搭載車]

**参考** ・サイドベアリングが新品の場合は、プレートワッシャーを厚さの薄いものから選択して取り付ける。

・サイドベアリングが再使用の場合は、プレートワッシャーを分解前と同じ厚さのものから取り付ける。

- (2) プラスチックハンマーを使用して、リングギヤを軽くたたき、ベアリングとワッシャーを十分に落ち着かせる。
- (3) ダイヤルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当て、コンパニオンフランジを固定し、リングギヤを動かしバックラッシュを点検する。

参考値 0.13mm [除く 1JZ-GE (2WD) 搭載車]  
0.10mm [1JZ-GE (2WD) 搭載車]

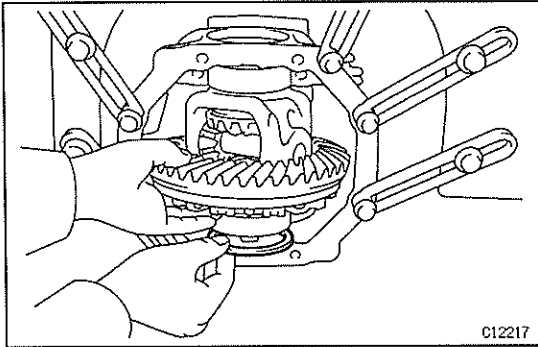
**注意** リングギヤは円周上の3箇所以上で測定する。

- (4) リングギヤのバックラッシュが参考値付近になるようなプレートワッシャーを次項のプレートワッシャー一覧表より選択して、リングギヤ背面側に取り付ける。
- (5) リングギヤ歯面側のサイドベアリングアウターレース端面とキャリアのすき間が0か、0に近いプレートワッシャーを指で十分奥まで挿入し、そのうち一番厚いものを選択する。
- (6) プラスチックハンマーを使用して、リングギヤを軽くたたき、ベアリングを十分落ち着かせる。
- (7) ダイヤルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当て、コンパニオンフランジを固定し、リングギヤを動かしてバックラッシュを点検する。

基準値 0.13~0.18mm [除く 1JZ-GE (2WD) 搭載車]  
0.10~0.15mm [1JZ-GE (2WD) 搭載車]

**注意** ・リングギヤは円周上の3箇所以上で測定する。

・基準値外の場合は、左右プレートワッシャーの厚さを同量ずつ増減させて基準値内にする。



## ・プレートワッシャー—一覧表

7.5 インチ

品番	厚さ (mm)	品番	厚さ (mm)	品番	厚さ (mm)	品番	厚さ (mm)
90201-65007	2.57~2.59	90201-65013	2.75~2.77	90201-65019	2.93~2.95	90201-65025	3.11~3.13
90564-65001	2.59~2.61	90564-65007	2.77~2.79	90564-65013	2.95~2.97	90564-65019	3.13~3.15
90564-65002	2.61~2.63	90564-65008	2.79~2.81	90564-65014	2.97~2.99	90564-65020	3.15~3.17
90201-65009	2.63~2.65	90201-65015	2.81~2.83	90201-65021	2.99~3.01	90201-65027	3.17~3.19
90564-65003	2.65~2.67	90564-65009	2.83~2.85	90564-65015	3.01~3.03	90564-65021	3.19~3.21
90564-65004	2.67~2.69	90564-65010	2.85~2.87	90564-65016	3.03~3.05	90564-65022	3.21~3.23
90201-65011	2.69~2.71	90201-65017	2.87~2.89	90201-65023	3.05~3.07	90201-65029	3.23~3.25
90564-65005	2.71~2.73	90564-65011	2.89~2.91	90564-65017	3.07~3.09		
90564-65006	2.73~2.75	90564-65012	2.91~2.93	90564-65018	3.09~3.11		

8 インチ

品番	識別マーク	厚さ (mm)	品番	識別マーク	厚さ (mm)
90201-52001	01	2.57~2.59	90564-46029	47	3.03~3.05
90564-46014	32	2.59~2.61	90201-52017	17	3.05~3.07
90564-46015	33	2.61~2.63	90564-46030	48	3.07~3.09
90201-52003	03	2.63~2.65	90564-46031	49	3.09~3.11
90564-46016	34	2.65~2.67	90201-52019	19	3.11~3.13
90201-46017	35	2.67~2.69	90564-46032	50	3.13~3.15
90201-52005	05	2.69~2.71	90564-46033	51	3.15~3.17
90564-46018	36	2.71~2.73	90201-52021	21	3.17~3.19
90564-46019	37	2.73~2.75	90564-46034	52	3.19~3.21
90201-52007	07	2.75~2.77	90564-46035	53	3.21~3.23
90564-46020	38	2.77~2.79	90201-52023	23	3.23~3.25
90564-46021	39	2.79~2.81	90564-46036	54	3.25~3.27
90201-52009	09	2.81~2.83	90564-46037	55	3.27~3.29
90564-46022	40	2.83~2.85	90201-52025	25	3.29~3.31
90564-46023	41	2.85~2.87	90564-46038	56	3.31~3.33
90201-52011	11	2.87~2.89	90564-46039	57	3.33~3.35
90564-46024	42	2.89~2.91	90201-52027	27	3.35~3.37
90564-46025	43	2.91~2.93	90564-46040	58	3.37~3.39
90201-52013	13	2.93~2.95	90564-46041	59	3.39~3.41
90564-46026	44	2.95~2.97	90201-52029	29	3.41~3.43
90564-46027	45	2.97~2.99	90564-46042	60	3.43~3.45
90201-52015	15	2.99~3.01	90564-46043	61	3.45~3.47
90564-46028	46	3.01~3.03	90201-52031	31	3.47~3.49

10 サイドベアリングプレロード調整

- (1) リングギヤのバックラッシュ調整後、リングギヤ歯面側のプレートワッシャーを取りはずす。
- (2) マイクロメーターを使用して、プレートワッシャーの厚さを測定する。
- (3) 取りはずしたプレートワッシャーより 0.06~0.09mm厚いワッシャーを取り付ける。

(「リヤディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」

— 「リングギヤバックラッシュ調整」参照)

**注意** 指で2/3程度まで挿入できるワッシャーを取り付ける。

- (4) SST を使用して、プレートワッシャーを打ち込む。

S S T 09504-22011

- (5) ベアリングキャップとディファレンシャルキャリアの合わせマークを合わせて、ベアリングキャップを組み付ける。
- (6) ベアリングキャップボルト4本を規定トルクで締め付ける。
- (7) ダイアルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当て、コンパニオンフランジを固定し、リングギヤを動かしてバックラッシュを点検する。

基準値 0.13~0.18mm [除く 1JZ-GE (2WD) 搭載車]

0.10~0.15mm [1JZ-GE (2WD) 搭載車]

**注意** 基準値外の場合は、左右プレートワッシャーの厚さを同量ずつ増減させて基準値内にする。

(「リヤディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」

— 「リングギヤバックラッシュ調整」参照)

11 総合プレロード測定

- (1) トルクレンチを使用して、総合プレロードを測定する。ドライブピニオンとリングギヤの歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値 総合プレロード=ドライブピニオンプレロード

+0.39~0.59N・m {4~6 kgf・cm}

**注意** 基準値外の場合は、リングギヤ歯面側のプレートワッシャー調整する。

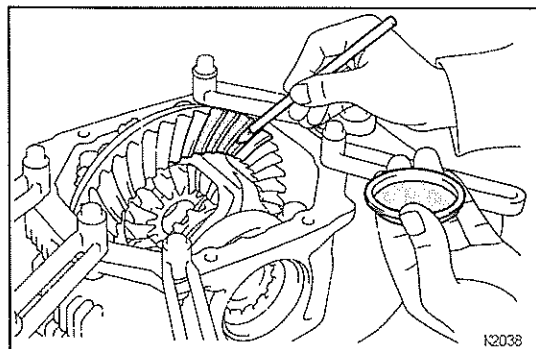
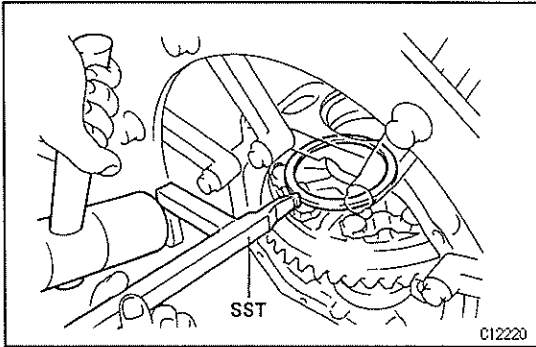
(「リヤディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」

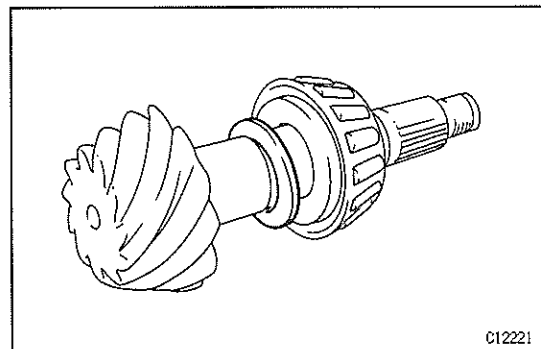
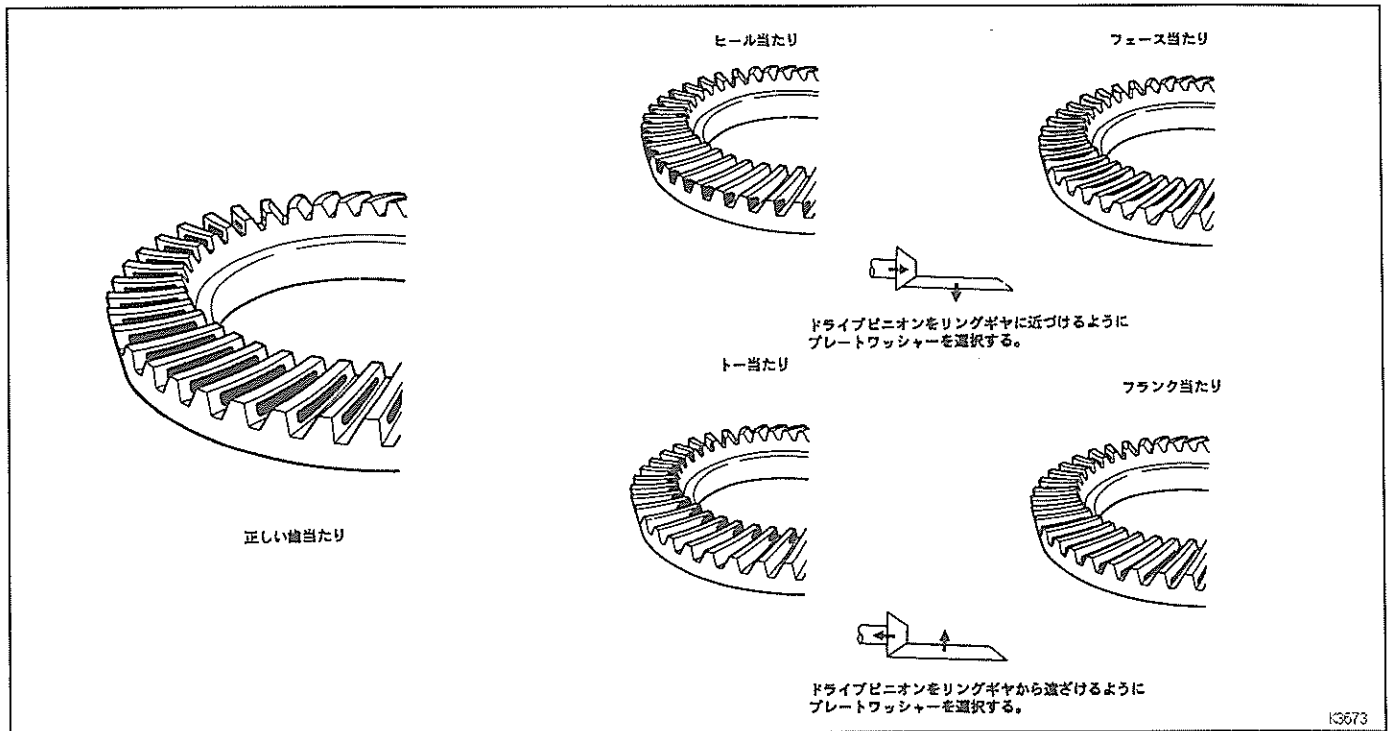
— 「リングギヤバックラッシュ調整」参照)

12 リングギヤとドライブピニオンの歯当り点検

- (1) リングギヤの歯面両側に光明丹を均一に薄く塗布しリングギヤを数回、回転させる。光明丹が示すパターンが歯当り位置である。

**注意** リングギヤ円周上4箇所で見当り状態を見る。





(2) 歯当たりが不良の場合は、ドライブピニオン突き出し量調整用プレートワッシャーを表より選択し再組み付けする。

・フェイス当り、フランク当りの場合はバックラッシュ基準値内で調整可能な場合もある。

〈参考〉 プレート ワッシャーの種類

品番	厚さ (mm)	品番	厚さ (mm)
90201-35497	1.69~1.71	90201-35508	2.02~2.04
90201-35498	1.72~1.74	90201-35509	2.05~2.07
90201-35499	1.75~1.77	90201-35510	2.08~2.07
90201-35500	1.78~1.80	90201-35511	2.11~2.13
90201-35501	1.81~1.83	90201-35512	2.14~2.16
90201-35502	1.84~1.86	90201-35513	2.17~2.19
90201-35503	1.87~1.89	90201-35514	2.20~2.22
90201-35504	1.90~1.92	90201-35515	2.23~2.25
90201-35505	1.93~1.95	90201-35516	2.26~2.28
90201-35506	1.96~1.98	90201-35517	2.29~2.31
90201-35507	1.99~2.01	90201-35518	2.32~2.34

13 ナットおよびコンパニオンフランジ取りはずし

(「リヤディファレンシャルキャリヤ ASSY 分解」)

— 「コンパニオンフランジ取りはずし」 参照)

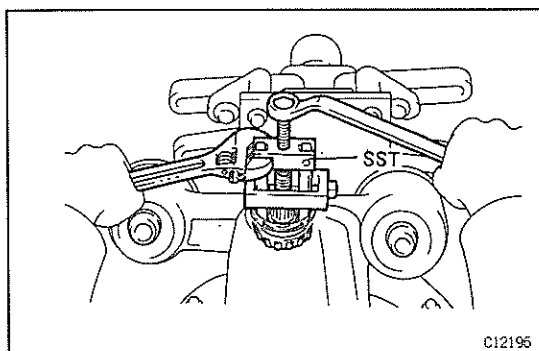
14 ドライブピニオンオイルスリンガー取りはずし

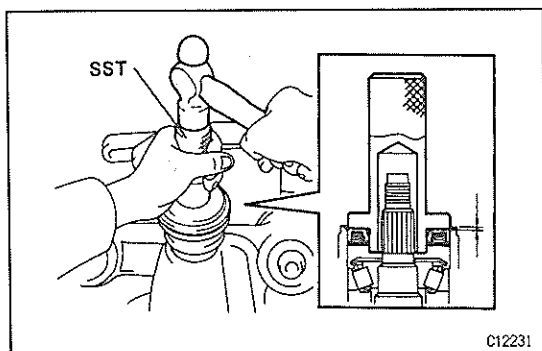
15 テーパーローラーベアリング (フロントベアリング) 取りはずし

(1) SST を使用して、テーパーローラーベアリングを取りはずす。  
S S T 09556-22010

16 ドライブピニオンベアリングスペーサー組み付け

(1) ドライブピニオンに新品のベアリングスペーサーを組み付ける。  
内径の大きい方をフロント側に向ける。





17 テーパーローラーベアリング (フロントベアリング) 組み付け

18 ドライブピニオンオイルスリンガー組み付け

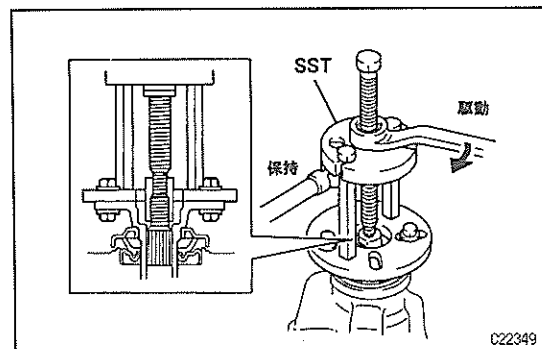
19 オイルシール組み付け

(1) SSTを使用して、新品のオイルシールを打ち込む。

S S T 09554-30011

基準値 オイルシール打ち込み量 (キャリヤ端面から) 1.5mm

**注意** オイルシールリップ部に MP グリースNo.2 を塗布する。



20 コンパニオンフランジ組み付け

(1) SSTを使用して、コンパニオンフランジを取り付ける。

S S T 09951-03010 09953-03010 09954-03010

09955-03030 09956-03020(7.5 インチ)

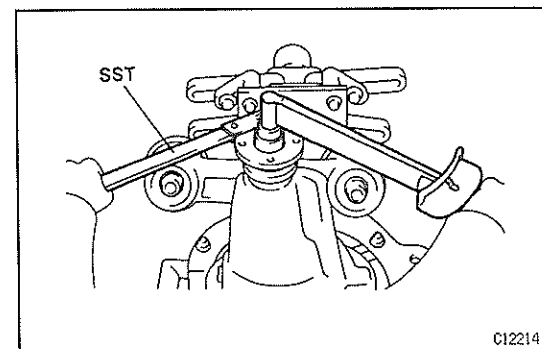
09956-03030(8 インチ)

**注意** SST のセンターボルト (09953-03010) のねじ部に油脂類を塗布して使用する。

(2) プレートワッシャーを組み付ける。

(3) 新品のナットのねじ部にハイポイドギヤオイル LSD を塗布し SST を使用して、フランジを固定して、規定トルクで締め付ける。

S S T 09330-0021



21 ドライブピニオンプレロード調整

(1) トルクレンチを使用して、ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値

	7.5 インチ	8 インチ
ベアリング新品時	1.18~1.86N・m {12~19kgf・cm}	1.08~1.67N・m {11~17kgf・cm}
ベアリング再使用时	0.59~0.98N・m {6~10kgf・cm}	0.59~0.88N・m {6~9kgf・cm}

**注意** ベアリングをなじませるためフランジの正転、逆転を数回行った後に測定する。

(2) プレロードが過大の場合は、ベアリングスペーサーを交換する。

(3) プレロードが不足の場合は、ナットを 5~10° ずつ増し締めし、プレロードを測定し、基準値になるように繰り返し調整する。

(4) ナットの締め付けトルクが限度値を超えてもプレロード不足の場合は、ナットを一度ゆるめて、ナットおよびドライブピニオンのねじ山がつぶされていないか点検する。

(5) 異常がないならば、スペーサーを交換し、ねじ部にハイポイドギヤオイル SX およびハイポイドギヤオイル LSD を塗布したのち前記作業を繰り返す。

22 総合プレロード

(1) トルクレンチを使用して、ドライブピニオンとリングギヤ歯面を当たった状態で起動トルクを測定する。

基準値 総合プレロード=ドライブピニオンプレロード

+0.39~0.59N・m {4~6 kg・cm}

## 23 ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュ点検

- (1) ダイアルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当てドライブピニオンのフランジを固定し、リングギヤを動かして測定する。

基準値 0.13~0.18mm [除く1JZ-GE (2WD) 搭載車]

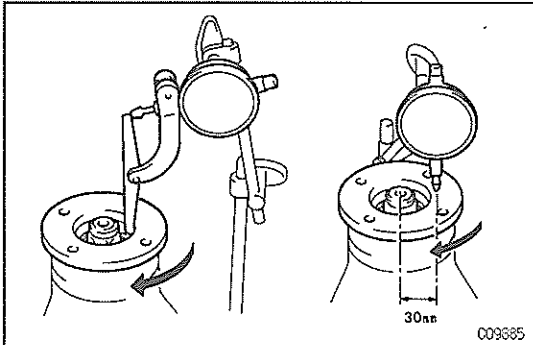
0.10~0.15mm [1JZ-GE (2WD) 搭載車]

**注意** リングギヤ円周上の3箇所以上で測定する。

## 24 リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検

(「リヤディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」

— 「リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検」参照)



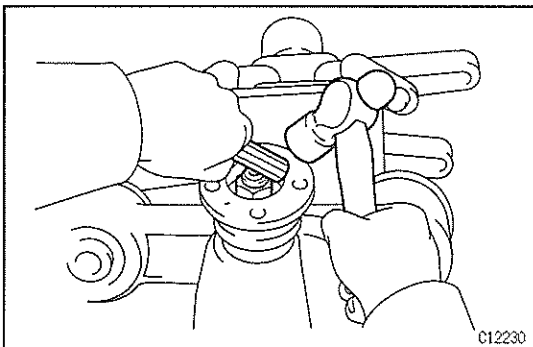
## 25 コンパニオンフランジの振れ点検

- (1) ダイアルゲージをコンパニオンフランジの内周面に直角に取り付け、コンパニオンフランジの縦振れを測定する。

限度 0.09mm

- (2) ダイアルゲージをコンパニオンフランジ面に直角に、またボルト取り付け穴の外側に取り付け、コンパニオンフランジの横振れを測定する。

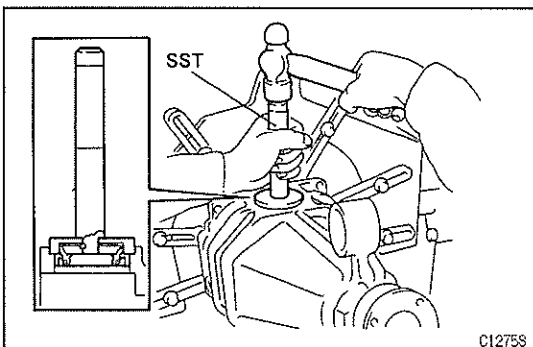
限度 0.09mm



## 26 ドライブピニオンナットかしめ

- (1) タガネを使用して、ナットをかしめる。

11

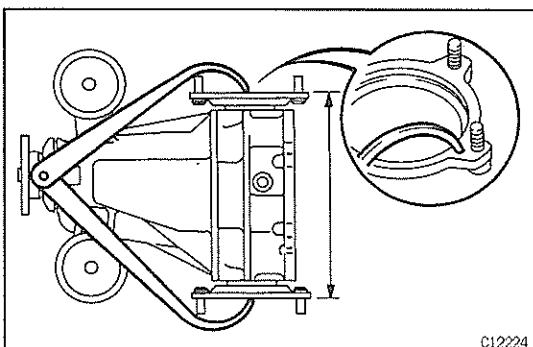


## 27 サイドギヤシャフトオイルシール組み付け

- (1) SSTを使用して、新品のオイルシール2個をディファレンシャルキャリア端面と面一になるまで打ち込む。

S S T 09550-00020 09550-00031

**注意** オイルシールリップ部にMP グリースNo.2を塗布する。



## 28 サイドギヤシャフト組み付け

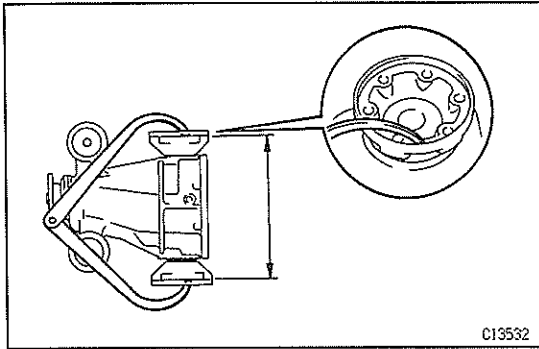
- (1) 新品のスナッピングをサイドギヤシャフトに組み付ける。

- (2) SSTを使用して、サイドギヤシャフトをディファレンシャルに打ち込む。

S S T 09520-24010

**注意**

- ・スナッピングの切り口を下向きにして組み付ける。
- ・挿入時、斜めに打ち込まない。斜めに打ち込んだ場合は、スナッピングを新品に取り替え、再度打ち込む。
- ・オイルシールを傷つけない。



C13532

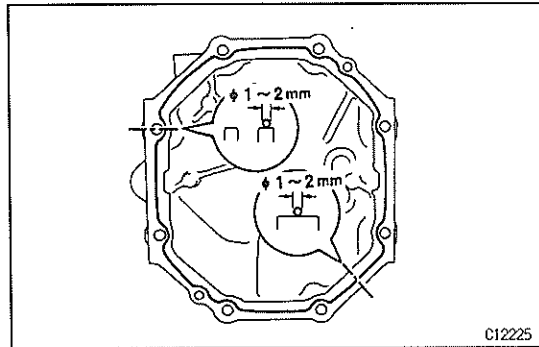
〈参考〉 ・打ち込み時、SSTのスライディングハンマーの反発力の変化  
あるいは音質の変化でピニオンシャフトに当たっていることを  
判断できる。

・サイドギヤシャフトをディファレンシャルピニオンシャフト  
に当てた状態にし、サイドギヤシャフトフランジ面を外パス  
などで測定する。

参考値 7.5インチ (1JZ-GE 搭載車) 282.6mm以下

7.5インチ (1G-FE, 2L-TE 搭載車) 239.5mm以下

8インチ (1JZ-GTE, 2JZ-GE 搭載車) 279.7mm以下



C12225

## 29 ディファレンシャルキャリア ASSY 取りはずし

(1) ディファレンシャルキャリア ASSY をオーバーホールアタッチ  
メントから取りはずす。

## 30 ディファレンシャルキャリアカバー組み付け

(1) ディファレンシャルキャリアおよびキャリアカバーに付着して  
いるシールパッキンをスクレーパーおよびワイヤーブラシを使  
用して清掃した後、洗浄液などで油分を落とす。

**注意** 取り付け面を傷つけない。

(2) 図の位置にシールパッキン 1281 を塗布し、ディファレンシャル  
キャリアに取り付ける。

**注意** ・シールパッキンの塗布φ1～φ2mmで塗布切れしない。

・シールパッキン塗布後、3分以内に組み付ける。

・カバー組み付け後は、すぐにオイルを注入したり、走行した  
りせず、1時間以上放置する。また、その後12時間以内に急  
激な加減速を避ける。

(3) ボルト8本でディファレンシャルキャリアカバーを組み付ける。



## 31 オイル量点検、調整

(「基本点検」 - 「ディファレンシャルオイル量点検」参照)

# ディファレンシャルマウント クッション

## 準備品

### S S T

	<p>09570-24010 ディファレンシャルマウント クッションリムーバー &amp; リプレーサー</p>	<p>マウントクッション脱着用</p>
	<p>09316-12010 トランスファーベアリング リプレーサー</p>	<p>マウントクッション脱着用</p>

### 工具

<p>ボルト (M12×P1.25 首下長さ 186mm) 90101-12159</p>	<p>54611 マウントクッション脱着用</p>
<p>ナット (M12×P1.25) 90179-12051</p>	<p>54612 マウントクッション脱着用</p>

## ディファレンシャルマウントクッション

### ディファレンシャルマウントクッション取りはずし

#### 1 ディファレンシャルキャリア ASSY 取りはずし

(「リヤディファレンシャルキャリア ASSY」)

「リヤディファレンシャルキャリア ASSY 脱着作業上の留意点」参照)

#### 2 ディファレンシャルマウントクッション取りはずし

(1) SST を使用してマウントクッションを取りはずす。

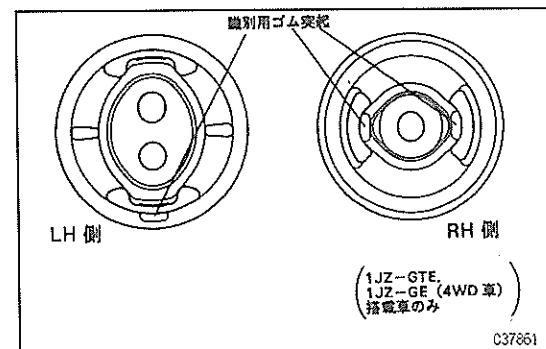
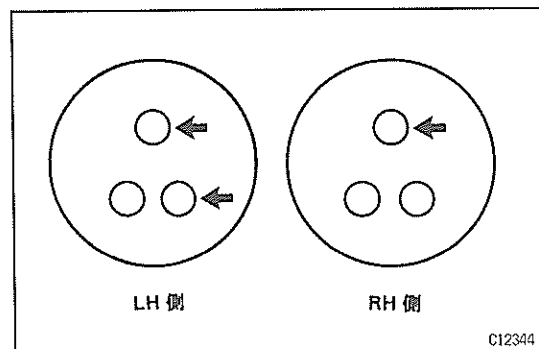
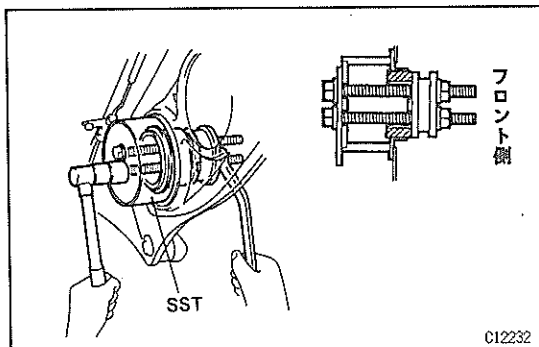
S S T 09570-24010 09316-12010

- マウントクッションを取りはずす際に、SST (09316-12010) がサブフレームに接触しないように注意する。
- SST の組み合せ方を間違えない。
- SST のボルトが斜めにならないように取り付ける。
- LH 側 (2つ穴) は SST のボルトを均等に締め込む。

〈参考〉 ボルト……90101-12159

ナット……90179-12051

ディファレンシャルマウントクッション LH および RH の脱着は、SST の図の位置にボルトを通して行う。



(2) ディファレンシャルマウントクッションの上下、左右の識別は識別用ゴム突起により行う。

### ディファレンシャルマウントクッション取り付け

#### 1 ディファレンシャルマウントクッション取り付け

(1) SST を使用して、マウントクッションを取り付ける。

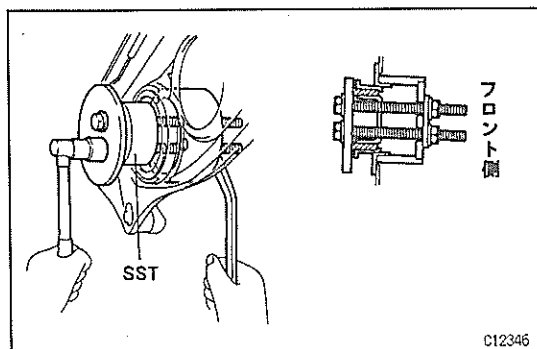
S S T 09570-24010

- マウントクッション取り付け角度のズレは±3°以内とする。
- マウントクッションが傾かないようにメンバーに仮付けしてから SST を取り付ける。
- SST の組み合せ方を間違えない。
- SST がマウントクッションの座面全周に接していることを確認する。

#### 2 ディファレンシャルキャリア ASSY 取り付け

(「リヤディファレンシャルキャリア ASSY」)

「リヤディファレンシャルキャリア ASSY 脱着作業上の留意点」参照)



---

MEMO